

令和2年度定時社員総会

期 日 令和2年6月28日（日）
場 所 品川プリンスホテル メインタワー3F
「ハイビスカス・あじさい」

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

【第1号議案】

令和元年度事業報告及び決算報告

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

【公社】日本ウエイトリフティング協会

令和元年度事業報告

本協会は各都道府県協会並びに関係諸団体・組織との連携・協力のもと、ウエイトリフティング競技の発展と普及を図るため各種事業を行った。

2020年東京（ナショナル強化）・2024年パリオリンピック対策（次世代育成強化）強化プランを継続し、独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）、国立スポーツ科学センター（JISS）の協力を得て各事業を展開した。JSC及びJOC、JISSにおけるハイパフォーマンス事業においては、フィットネス、栄養、心理、トレーナー活動を有効活用した。

強化面では、6月の世界ジュニア選手権大会では男子2名のメダル獲得を含む4名が入賞をすることができた。一方、2020東京オリンピック候補選手は、本年度は4月のアジア選手権大会からオリンピック参加資格大会へ出場し、代表選手を目指してきた。9月の世界選手権大会では男子89kg級山本俊樹選手がトータル5位（日本新記録）、ジャーク種目（日本新記録）において41年ぶりの金メダルを獲得した。続いて、女子59kg級安藤美希子選手が2年連続入賞のトータル5位、男子61kg級糸数陽一選手はトータル6位、スナッチ種目では3位（日本新記録）の銅メダル獲得、男子67kg級近内三孝選手もトータル6位（日本新記録）と健闘した。また、世界選手権大会において多くの日本新記録も樹立され、2019年は日本新記録が男子38・女子13、ジュニア男子15・女子3、大学男子10・女子16、高校男子5・女子10、中学男子10・女子30、マスターズ男子44・女子20が樹立された。2024年パリ・2028年ロサンゼルスオリンピックに向けても若い選手の記録更新が目立ち成果があった。

しかし、年が明けた2月中旬より、“新型コロナウイルス”が世界で蔓延し始め、日本でも感染拡大が始まった。2月下旬の東アジア選手権大会、3月のコロンビア国際大会、世界ジュニア選手権大会が次々と延期または中止となり、関連して3月以降のナショナル合宿、ジュニア合宿等もすべて中止となっている。

さらに、2020東京オリンピック大会を迎えるにあたっては7月に東京オリンピック開催会場の東京国際フォーラムでテストイベントが実施され、過去の国際大会を開催した経験を活かし、大会における競技力・運営能力・国際発信力を発揮した。同時に本大会への運営面で課題も見つかри、有意義な大会となった。

2020東京オリンピックに向けて財政面では、オフィシャルスポンサー契約も複数締結でき、免税募金の収入も例年以上にあったことにより、予定した事業については3月の新型コロナウイルスの影響以外は実施することができた。

公益法人として良好なガバナンスの励行及びコンプライアンスの遵守に努め、本協会の経営・運営を行った。今後「スポーツ団体ガバナンスコード」の自己説明、公表に向け準備を始めている。

【公益事業】

I. 競技力向上事業

1. 選手強化事業

競技者が人間の可能性の極限を追求し、国内外の競技会等で活躍することは、国民に誇りや喜び、夢と感動をもたらすと同時に競技の普及・振興に寄与するものである。また、4年ごとに行われるオリンピックでのメダル獲得等の目的達成のために、以下の選手強化及び指導者育成に取り組んだ。また、スポーツ医・科学の面からの支援もあり、ハイパフォーマンスセンター（JISS、JSC、JOC統括）の各種サポートを活用し効果的な事業を実施した。

(1) 国内合宿

公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、強化拠点である「味の素ナショナルトレーニングセンター専用練習場」を中心に、国際競技力の向上を目標に実施した。

また、2020年東京オリンピック大会対策および2024年パリ・2028年ロサンゼルスオリンピック対策として、次のナショナル及び次世代選手育成の強化合宿45事業を行った。

【通年合宿】

No		合宿名	期間	指導者数	選手数	場所
1	国内合宿	1 (特別強化合宿 通年4月)	4/1～ 4/30	3名	1名	東京都 NTC
2	国内合宿	2 (特別強化合宿 通年5月)	5/1～ 5/31	3名	1名	東京都 NTC

3	国内合宿	3	(特別強化合宿 通年6月)	6/1～ 6/30	3名	4名	東京都	NTC
4	国内合宿	4	(特別強化合宿 通年7月)	7/1～ 7/31	3名	2名	東京都	NTC
5	国内合宿	5	(特別強化合宿 通年8月)	8/1～ 8/31	3名	1名	東京都	NTC
6	国内合宿	6	(特別強化合宿 通年9月)	9/1～ 9/30	3名	1名	東京都	NTC
7	国内合宿	7	(特別強化合宿 通年10月)	10/1～10/31	3名	1名	東京都	NTC
8	国内合宿	8	(特別強化合宿 通年11月)	11/1～11/30	3名	2名	東京都	NTC
9	国内合宿	9	(特別強化合宿 通年12月)	12/1～12/31	3名	1名	東京都	NTC
10	国内合宿	10	(特別強化合宿 通年1月)	1/1～ 1/31	3名	1名	東京都	NTC
11	国内合宿	11	(特別強化合宿 通年2月)	2/1～ 2/28	3名	2名	東京都	NTC
12	国内合宿	12	(特別強化合宿 通年3月)	3/1～ 3/31	7名	9名	東京都	NTC

【ナショナル合宿】

No	合宿名	期 間	指導者数	選手数	場 所
1	国内合宿 1 (ナショナル合宿 男子)	4/ 8～ 4/20	6名	10名	東京都 NTC
2	国内合宿 2 (ナショナル合宿 女子)	4/ 8～ 4/20	9名	10名	東京都 NTC
3	国内合宿 3 (ナショナル合宿 男子)	5/ 9～ 5/22	3名	10名	東京都 NTC
4	国内合宿 4 (ナショナル合宿 女子)	5/ 7～ 5/23	3名	10名	東京都 NTC
5	国内合宿 5 (ナショナル合宿 男子)	6/10～ 6/22	3名	8名	東京都 NTC
6	国内合宿 6 (ナショナル合宿 女子)	6/10～ 6/23	3名	5名	士別市とNTC
7	国内合宿 7 (ナショナル合宿 男子)	7/ 1～ 7/ 3	4名	10名	東京都 NTC
8	国内合宿 8 (ナショナル合宿 女子)	7/ 1～ 7/ 3	4名	9名	東京都 NTC
9	国内合宿 9 (テストイベントコーチ)	7/ 5～ 7/ 8	5名	-	東京都 NTC
10	国内合宿 10 (ナショナル合宿 男子)	7/22～ 8/ 3	4名	6名	北海道士別市
11	国内合宿 11 (ナショナル合宿 女子)	7/15～ 7/31	3名	6名	新潟県津南町
12	国内合宿 12 (2019世界選手権代表合宿 男子)	8/19～ 9/20	7名	10名	東京都 NTC
13	国内合宿 13 (2019世界選手権代表合宿 女子)	8/13～ 9/20	10名	10名	東京都 NTC
14	国内合宿 14 (ブルースワードカップ代表事前合宿)	8/25～ 8/27	4名	8名	東京都 NTC
15	国内合宿 15 (ナショナル合宿 女子)	10/10～10/26	2名	8名	高知県高知市
16	国内合宿 16 (ナショナル合宿 女子)	10/17～10/26	4名	6名	東京都 NTC
17	国内合宿 17 (ナショナル合宿 男子)	11/ 4～11/21	4名	6名	山梨県山梨市
18	国内合宿 18 (ナショナル合宿 女子)	11/ 5～11/21	2名	4名	宮崎県宮崎市
19	国内合宿 19 (ナショナル合宿 男女)	12/ 2～12/ 8	9名	6名	東京都 NTC
20	国内合宿 20 (ナショナル合宿 女子)	12/ 9～12/19	2名	6名	沖縄県国頭村
21	国内合宿 21 (ナショナル合宿 男子)	1/ 8～ 1/25	3名	8名	国頭村とNTC
22	国内合宿 22 (ナショナル合宿 女子)	1/ 8～ 1/25	4名	7名	高知市とNTC
23	国内合宿 23 (ナショナル合宿 女子)	2/10～ 2/26	14名	13名	東京都 NTC
24	国内合宿 24 (ナショナル合宿 男子)	2/17～ 2/26	4名	5名	東京都 NTC
25	国内合宿 25 (ナショナル合宿 男女)	3/ 9～ 3/16	15名	18名	東京都 NTC

【次世代育成合宿】

No	合宿名	期 間	指導者数	選手数	場 所
1	国内合宿 1 (世界ジュニア候補合宿)	4/30～ 5/ 5	9名	15名	東京都 NTC
2	国内合宿 2 (世界ジュニア代表事前合宿)	5/26～ 6/ 2	6名	15名	東京都 NTC
3	国内合宿 3 (次世代育成合宿)	7/ 6～ 7/ 7	13名	11名	東京都 NTC
4	国内合宿 4 (次世代育成合宿:大学生)	8/ 6～ 8/12	4名	8名	新潟県津南町
5	国内合宿 5 (次世代育成合宿)	11/ 9～11/10	10名	9名	東京都 NTC
6	国内合宿 6 (次世代育成合宿)	1/25～ 2/26	6名	5名	東京都 NTC
7	国内合宿 7 (次世代育成合宿)	2/21～ 2/29	3名	8名	愛媛県新居浜市
8	国内合宿 8 (次世代育成合宿)	2/22～ 3/ 1	3名	9名	北海道士別市

(2) 海外合宿

① 公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、国際力（国際人の養成）及び国際競技力の向上を目標に実施した。

合宿名 : 大学生海外合宿（米国）

期 間 : 2020年2月16日～3月3日
 場 所 : アメリカ合衆国ルイジアナ州立大学シュリーブポート校
 参加者 : 指導者2名 加藤智子(日本体育大学) 武井誠一郎(早稲田学院高校)
 研修生5名 ①紙屋十磨(中央大学3年) ②西村晋吾(中央大学3年)
 ③知念勇樹(早稲田大学3年) ④坂口達哉(日本体育大学2年)
 ⑤岡 裕智(法政大学2年)

合計7名

(3) 外国チームとの合同合宿

① 公益財団法人日本オリンピック委員会及び韓国・国民生活体育会との共催事業であり、次代を担う若手選手の育成と国際交流の促進を目的に、公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、次のとおり実施した。

(派遣) 合宿名 : 日韓競技力向上スポーツ交流事業
 期 間 : 2019年10月10日～10月15日
 場 所 : 大韓民国 舒川市 ウェイトリフティング専用練習場
 参加者 : 指導者5名(JOC強化スタッフ)
 選手13名(男子5名、女子8名)
 韓国 指導者 5名、選手15名

(受入) 合宿名 : 日韓競技力向上スポーツ交流事業
 期 間 : 2019年12月7日～12月12日
 場 所 : 日本 新潟県津南町 「ニュー・グリーンピア津南」
 参加者 : 指導者(日本5名、韓国5名)(通訳2名)
 選手 (日本15名、韓国15名) 計42名

(4) 国際競技会への派遣

国際競技力の評価は、国際競技会での成績が中心となる。本会は、恒久的オリンピック選手育成の観点(一定レベルの競技力を有する)から年代別の競技会に優秀選手を派遣し競技力の向上に資する。次の大会へ指導者・選手を派遣した。

① アジア選手権大会「NF強化事業」

開催期間 : 2019年4月20日～4月29日
 場 所 : 中華人民共和国 寧波市
 参加者 : 指導者12名 三宅義行、小宮山哲雄、菊田三代治、小畑直之、横山信仁
 三石悦雄、平良真理、稲垣英二、鈴木和美、山田政晴、
 今鋒一恵、細川翔平
 男子選手10名 糸数陽一、高尾宏明、近内三孝、宮本昌典、五百蔵正和、
 笠井武広、山本俊樹、田中太郎、白石宏明、持田龍之輔
 女子選手10名 三宅宏実、高橋いぶき、八木かなえ、佐渡山彩奈、安藤美希子
 松本潮霞、吉田朱音、見附絵莉、神谷 歩、嶋本麻美

合計32名

〔日本男子選手〕

階 級	選 手 名	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
61kg級	糸数陽一	130	134NR	136	160	164NR	166	298NR	4位
67kg級	近内三孝	138	142	144	168	172	173	315NR	5位
67kg級	高尾宏明	125	130	130	160	164	165	285	13位
73kg級	宮本昌典	142	142	142	-	-	-	-	
73kg級	五百蔵正和	125	130	133	150	160	160	285	13位
81kg級	笠井武広	140	145	145	178	184	185	318	8位
89kg級	山本俊樹	155	160	160	195	203	203NR③	358	3位
102kg級	田中太郎	163	163	170NR	185	194	200	364	3位
109kg級	持田龍之輔	165	170	173	210	210	215	380	7位
109kg級	白石宏明	165	170	173	210	210	210	-	

〔国別男子団体〕

1位	CHN	716点	2位	IRI	705点	3位	KOR	633点
4位	KAZ	472点	5位	日本	467点	6位	TRK	421点

〔日本女子選手〕

階級	選手名	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
49kg級	三宅宏実	78	80	81	101	104	106	187	5位
49kg級	高橋いぶき	73	75	75	95	95	99	174	8位
55kg級	八木かなえ	81	84	84	103	103	106	187	6位
55kg級	佐渡山彩奈	79	79	81	97	100	102	181	7位
59kg級	安藤美希子	94	94	97NR	122	128③	132	225NR	3位
64kg級	松本潮霞	93	93	96	113	116	116	209	10位
64kg級	吉田朱音	87	90	92	109	113	115	205	12位
71kg級	見附絵莉	92	95	97	113	116	118	215	3位
76kg級	神谷 歩	-	-	-	-	-	-	-	
87kg級	嶋本麻美	98	102	105	118	118	123	223	6位

〔国別女子団体〕

1位	CHN	785点	2位	KOR	615点	3位	PRK	524点
4位	日本	524点	5位	KAZ	451点	6位	TPE	441点

② 世界ジュニア選手権大会「次世代アスリート育成事業」

開催期間 : 2019年6月1日～6月8日

派遣期間 : 2019年6月1日～6月10日

場 所 : フィジー共和国 スパ市

派遣人数 : 指導者7名、男子選手10名、女子選手5名、計22名

〔男子成績〕

階級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録	国 記録
55kg級	PRK 294	KAZ 266	KSA 265	VIE 263	KAZ 263	PHI 262	IRI 260	INA 250
61kg級	CHN 318	INA 306	COL 302	VIE 296	COL 295	JPN 293	GEO 287	MAS 285
67kg級	CHN 337	CHN 333	PRK 330	UZB 328	COL 320	JPN 317	TUR 316	BLR 313
73kg級	CHN 363	PRK 347	BUL 346	BLR 338	ALB 337	VEN 337	KOR 337	KOR 336
81kg級	CHN 378	CHN 377	COL 363	TKM 363	BUL 358	ITA 358	ESP 356	DOM 355
89kg級	ARM 375	IRI 374	GEO 371	BLR 370	JPN 368	KOR 367	CUB 364	VEN 364
96kg級	CHN 410	QAT 402	GEO 394	COL 391	IRI 382	CAN 380	RUS 376	VEN 369
102kg級	BLR 398	KOR 397	IRI 394	UKR 393	ARM 390	KOR 378	IRI 376	RUS 376
109kg級	ARM 429	BLR 426	CHN 420	UZB 417	RUS 414	RUS 409	IRI 395	POL 394
+109kg級	GEO 484	ARM 460	ARM 437	BLR 432	ALG 431	SYR 430	TPE 425	BRA 424

〔日本男子成績〕

階級	選手名	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
55kg級	久保海斗	93	96	99	122	126	128②	224	2位
55kg級	山口優人	98	101	103①	120	120	123	223	3位
61kg級	大西裕也	107	111	111	130	135	140	247	9位
67kg級	木村勇喜	119	122	122	140	146	152	274	13位
73kg級	佐藤康太郎	125	130	130	160	165	168JNR	298JNR	8位
81kg級	宍戸大輔	128	133	133	155	155	160	293	13位
89kg級	西田 裕	130	134	135	160	167	167	302	9位
89kg級	扇本崇聖	125	130	135	155	160	160	290	10位
+109kg級	宮城昌義	135	142	146	175	180	185	331	12位
+109kg級	横山太偉雅	140	150	150	180	187	197	347	9位

〔男子団体〕

1位	IRI	622点	2位	USA	552点	3位	日本	521点
----	-----	------	----	-----	------	----	----	------

4位 TUR 346点 5位 POL 300点 6位 BLR 281点

〔女子成績〕

階級	1位		2位		3位		4位		5位		6位		7位		8位	
	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録	国	記録
45kg級	TUR	169	CUB	167	INA	165	VIE	164	VIE	161	VEN	157	PHI	156	MAD	155
49kg級	CHN	212	CHN	211	PRK	204	IND	201	COL	188	RUS	187	DOM	187	USA	183
55kg級	CHN	227	CHN	222	PHI	214	KAZ	213	COL	210	UZB	209	MEX	202	CAN	201
59kg級	TPE	246	PRK	245	CHN	233	COL	222	JPN	222	GBR	216	VEN	215	LAT	215
64kg級	CHN	261	PRK	251	ROU	240	COL	238	ROU	235	CAN	230	COL	222	GBR	222
71kg級	USA	248	USA	240	PRK	230	GBR	226	RUS	219	CAN	218	KAZ	211	PHI	210
76kg級	PRK	276	CHN	271	ECU	245	MEX	245	UKR	242	KOR	235	SWE	231	RUS	230
81kg級	COL	247	ESP	246	USA	245	BLR	244	VEN	242	KOR	238	COL	238	MGL	237
87kg級	CHN	278	PRK	269	ECU	252	CHI	251	VEN	250	BRA	235	KOR	230	MDA	225
+87kg級	CHN	332	RUS	318	CHN	311	PRK	303	UKR	286	NZL	285	USA	285	KOR	276

〔日本女子成績〕

階級	選手名	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
49kg級	山下笑佳	69	71	73	81	84	84	154	8位
55kg級	原 沙織	73	73	77	95	98	101	175	9位
59kg級	大湾ゆみか	73	75	75	95	95	98	168	12位
63kg級	橋本 堇	80	83	83	98	98	98	178	10位
71kg級	藤田あかね	79	82	82	103	108	110	192	10位

〔女子団体〕

1位	USA	615点	2位	KOR	431点	3位	TUR	409点
4位	RUS	405点	5位	TPE	346点	6位	CHN	333点
9位	日本	241点						

③ ブルースワードカップ「NF強化事業」

開催期間 : 2019年8月28日～8月31日
 場 所 : ドイツ国 マイセン市
 派遣人数 : 指導者 4名 野澤雄一、加藤智子、福田登美男、大川克弘
 男子選手 3名 東野凌大、平井海斗、後藤太雅
 女子選手 5名 柳田瑞季、見附絵莉、鈴木梨羅、安藤千鈴、知念ひめの
 合計 12名

〔日本男子成績〕

階級	選手名	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
55kg級	東野凌太	100①	105	105	120	125①	130	220	1位
61kg級	平井海斗	100	105①	110	133	140①	147	252	1位
67kg級	後藤大雅	115③	119	119	135	140	140	250	4位

〔日本女子成績〕

階級	選手名	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
45kg級	鈴木梨羅	68①	71	75	92①	95	98	163	1位
49kg級	柳田瑞季	66③	68	70	85	91	91	161	1位
49kg級	安藤千鈴	66	68	68	80	83	86	149	4位
76kg級	見附絵莉	90	90③	95	105	110	115	200	3位
81kg級	知念ひめの	90	94③	97	115	120	120	209	3位

④ 世界選手権大会（男子、女子）「NF強化事業」

開催期間 : 2019年9月18日～9月27日
 場 所 : タイ王国 パタヤ市 パタヤ総合スポーツセンター
 参加者 : 指導者 14名 三宅義行、小宮山哲雄、菊田三代治、小畑直之、横山信仁、三石悦雄、平良真理、稲垣英二、鈴木和美、山田政晴、今鋒一恵、竹俣壽郎、細川翔平、中嶋耕平

男子選手10名 糸数陽一、平井隼人、近内三孝、高尾宏明、宮本昌典、
五百蔵正和、山本俊樹、白石宏明、持田龍之輔、村上英士郎
女子選手10名 三宅宏実、高橋いぶき、八木かなえ、佐渡山彩奈、安藤美希子
松本潮霞、吉田朱音、見附絵莉、神谷 歩、嶋本麻美

〔日本男子選手〕

階級	選手名	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
61kg級	糸数陽一	131	135NR③	137	158	158	162	293	6位
61kg級	平井隼人	118	122	124	145	149	151	271	18位
67kg級	近内三孝	138	143NR	146	168	173	174NR	317NR	6位
67kg級	高尾宏明	103	108	111	126	130	135	246	35位
73kg級	宮本昌典	140	145	148	175	180	183	328	12位
73kg級	五百蔵正和	135	140	140	160	170	177	305	23位
89kg級	山本俊樹	155	160	160	193	200	208NR①	368NR	5位
109kg級	持田龍之輔	165	170	174	210	219NR	223	393	10位
109kg級	白石宏明	165	170	171	201	211	220NR	385	15位
+109kg級	村上英士郎	180	185	185	217	224	230NR	415NR	12位

〔男子団体〕

1位	CHN	700点	2位	BLR	505点	3位	KOR	491点
4位	IRI	484点	5位	GEO	468点	6位	ARM	424点
9位	日本	377点						

〔日本女子選手〕

階級	選手名	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
49kg級	三宅宏実	73	75	—	96	—	—		
49kg級	高橋いぶき	73	74	76	95	97	100		
55kg級	八木かなえ	83	85	87	107	110	112	195	13位
55kg級	佐渡山彩奈	80	83	85	100	103	105	186	19位
59kg級	安藤美希子	93	96	98	123	126	130	222	5位
64kg級	松本潮霞	93	96	96	112	114	114	205	22位
64kg級	吉田朱音	86	89	89	114	117	117	203	24位
76kg級	神谷 歩	98	102	104	118	122	122	220	12位
87kg級	森下伊万里	90	90	90	—	—	—		
87kg級	嶋本麻美	100	103	103	122	122	122	222	9位

〔女子団体〕

1位	CHN	786点	2位	PRK	511点	3位	USA	482点
4位	COL	451点	5位	RUS	382点	6位	CAN	359点
12位	日本	299点						

⑤2019 IWFワールドカップ大会「NF強化事業」

開催期間：2019年12月10日～12月12日

開催場所：中華人民共和国 天津市総合体育館

参加者：指導者 8名 三宅義行、小宮山哲雄、佐藤公治、平良真理、山田政晴
竹俣壽郎、今銚一恵、大橋清香（通訳）

男子選手4名 近内三孝、宮本昌典、山本俊樹、村上英士郎

女子選手1名 吉田朱音

〔日本男子成績〕

階級	選手名	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
67kg級	近内三孝	135	140③	144	165	170	175②	315	4位
73kg級	宮本昌典	140	145	148④	178	183	187②	335	3位
89kg級	山本俊樹	155③	160	160	195	195②	211	350	2位
+109kg級	村上英士郎	180	185①	189	220	228	231②NR	416NR	1位

〔日本女子成績〕

階級	選手名	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
64kg級	吉田朱音	60	63	65	80	-	-	145	7位

⑥ アジアユース・ジュニア選手権大会「次世代アスリート育成事業」

開催期間：2020年2月12日～2月18日

場所：ウズベキスタン共和国 タシケント市

派遣人数：指導者6名 細川翔平、浅田久美、古川 敬、比嘉敏彦、川崎さと美、石川洋平

女子選手5名 瀬川瑠奈、山下笑佳、安部希美、比嘉 成、川崎菜々紗
合計11名

〔日本女子成績〕ユースの部

階級	選手名	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
45kg級	安部希美	57	57	60	70	74	78	134	4位
49kg級	比嘉 成	70	72	73①	82	84	86MR②	159MR	1位
49kg級	山下笑佳	70	70	72②	85	85③	88	157	2位
71kg級	瀬川瑠奈	84	87①	90	104	108	111②	198	2位

〔日本女子成績〕ジュニアの部

階級	選手名	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
45kg級	安部希美	57	57	60	70	74	78	134	4位
49kg級	川崎菜々紗	71	71	73MR③	84	84	86	157	4位
49kg級	山下笑佳	70	70	72	85	85	88	157	5位
71kg級	瀬川瑠奈	84	87①	90	104	108	111②	198	2位

〔新記録樹立〕

中学新記録	49kg級	川崎菜々紗	(京都府 栗田中学校)	S	73kg			
〃	49kg級	比嘉 成	(沖縄県 大宮中学校)	J	86kg	T	157kg	159kg

〔団体順位〕

女子	1位	TPE	740	2位	UZB	737	3位	IND	391
(ユース)	4位	日本	297	5位	MGL	193	6位	KAZ	168
女子	1位	UZB	749	2位	IND	512	3位	TPE	417
(ジュニア)	4位	VIE	367	5位	日本	275	6位	INA	251

(5) 国際大会開催

2020年東京オリンピック大会を開催するにあたり、競技運営はもとより審判・役員の運営を中心に、既存の日・韓・中フレンドシップ大会の60名にテストイベント参加選手13名を加えて開催した。

○日本・韓国・中国フレンドシップ大会(2020東京テストイベント)「NF強化事業」

受入期間：2019年7月3日～7月9日

開催期間：2019年7月6日～7月7日

場所：東京都 東京国際フォーラム ホールA

参加人数：男子選手38名、女子選手35名、計73名

(6) 海外優秀コーチ招聘事業

2020東京オリンピック大会に向けて、海外の優秀コーチ招聘により高い技術及び戦術を学び、日本の技術向上及び成績上昇を目的としたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の時期にあたり実施出来なかった。

(7) スポーツ医・科学研究事業との連携に基づく強化

① 日本スポーツ振興センター(JSC)・国立スポーツ科学センター(JISS)・日本オリンピック委員会(JOC)から次のハイパフォーマンス事業を受けた。

ア) 栄養、心理、トレーニング、情報、科学の各分野が連携した医・科学支援を、継続して行った。

イ) ウエイトリフティングの技術について、全日本選手権大会及び世界選手権大会等での高速ビデオカメラ撮影、動作解析し、選手・指導者へのフィードバックを依頼すると共に、その内容について全国指導者研修会等で発表した。

ウ) フィットネスの面では、ナショナル及びジュニア選手に対し、体力の向上と、筋力アップのトレーニングを実施、効果があった。

- ② ミズノスポーツ振興財団の助成により、競技時における外傷・障害発生率は海外の主要な大会の報告よりは低値であるが、障害の有病率は比較的高いのが実情である。

本年も、引き続き従来の外傷・障害調査を対象とする競技会の数を増やすとともに、調査した。一部、2・3月での大会で実施する予定であったが、“新型コロナウイルス感染拡大防止”のため中止となり、実施できなかった。

- ③ 主要競技会において医科学委員会の医師等が医事運営にあたり、競技会時の安全管理・危機管理の向上をめざした。

(8) ナショナルコーチの推薦

公益財団法人日本オリンピック委員会のナショナルコーチ事業制度を活用し、ナショナルコーチ及びアシスタントナショナルコーチ制度を活用した。

ナショナルコーチ 小宮山哲雄 アシスタントナショナルコーチ 細川翔平

(9) 専任コーチの推薦

味の素ナショナルトレーニングセンター専用施設の有効活用と選手強化のコーチングの任に当たるために、公益財団法人日本オリンピック委員会の専任コーチ等設置事業制度を活用し、ナショナルチーム指導者のトップコーチ・ジュニアコーチングディレクター・NTC担当の3名を指名した。

トップアスリート担当 小畑直之

ジュニアアスリート担当 高倉玄貴

NTC担当 柴田里穂

2. コーチの資質向上を目的とする事業

(1) 全国指導者研修会

ウエイトリフティング指導者の資質と指導力の向上及び指導者間の情報交換並びに連携を図ることを目的に開催した。

期 日 2020年2月8日・9日

会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター

指導者 6名、 参加者 35名

講習内容 ・令和元年度事業報告、令和2年度事業計画
 ・2019世界選手権大会技術分析
 ・2019ナショナルチームの報告
 ・「コンディショニングのための月経対策」
 ・「緊張を克服するための準備」
 ・アンチドーピングについて

(2) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者専門教科講習会講師の派遣

日本スポーツ協会の委託事業として次の2事業を実施した。

- ① 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者「コーチ1（指導員）」養成（専門教科）講習会

期 日 2019年9月13日～9月16日

時 間 30時間

会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター

講 師 8名、 受講者 15名

- ② 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者「コーチ4（上級コーチ）」養成（専門教科）講習会

期 日 2019年12月21日～12月23日

時 間 30時間

会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター

講 師 8名、 受講者 15名

(3) ウェイト・ワークアウトコーチ育成事業

2020年4月より実施する、NSCA（ナショナル・ストレスレングandコンディショニング協会）とのウェイトワークアウト事業でウェイトリフティング種目、補助種目の実技が教えられることから、これらの担当者との会議、打ち合わせを行い準備を行った。

II. 競技者育成事業

1. 研修合宿開催

一貫指導システム（ナショナルトレーニングシステム）の理念と方法に基づき、競技者の発掘及び育成を図ることを目的に次の研修合宿を実施した。

この事業は、（スポーツ振興くじ助成事業）として補助を受けて開催した。

(1) 中学生・高1研修合宿（ディベロップメント）

都道府県協会に中学生及び高校1年生の優秀競技者の情報提供を依頼し、選手強化委員会の専門グループがセクションした選手を対象に研修合宿を実施した。

期間：2019年 9月21日～ 9月23日（2泊3日）

場所：味の素ナショナルトレーニングセンター

指導者：13名 参加者：23名

- 内容：1. 「スポーツと栄養」（JISS大野尚子）
2. 「アンチ・ドーピング」（加藤智子）
3. 「JOCチームワーク研修」（JOC守屋麻樹）
4. 「メンタルトレーニング」（JISS佐々木丈予）
5. 「インテグリティ教育」（野澤雄一）
6. 「世界情勢」（加藤智子）
7. 実技講習等

(2) 大学生研修合宿（ジュニア スペリオリティー）

各種競技会の成績を基に、大学生・ジュニア年代の学生をセクションし、中央にて研修合宿を実施した。

期間：2019年 9月16日～ 9月20日（4泊5日）

場所：味の素ナショナルトレーニングセンター

指導者：5名 参加者：23名

- 内容：1. 「スポーツと栄養」（JISS石井美子）
2. 「アンチ・ドーピング」（JADA曾根良太）
3. 「JOCチームワーク研修」（JOC島崎湖、村松圭子、守屋麻樹）
4. 「メンタルトレーニング」（JISS佐々木丈予）
5. 「インテグリティ教育」（野澤雄一）
6. 「世界情勢」（加藤智子）
7. 「リハビリトレーニング」「ウェイトトレーニング」（JISS武藤雅人）
8. 実技講習等

(3) ジュニアエリート研修合宿

各種競技会の成績を基に、優秀な高校2・3年生をセクションし、中央にて研修合宿を実施した。

期間：2019年12月21日～12月26日（5泊6日）

場所：味の素ナショナルトレーニングセンター

指導者：13名 参加者：34名

- 内容：1. 「スポーツと栄養」（JISS大野尚子）
2. 「ウェイトリフティング技術分析」（上村琢）
3. 「アンチ・ドーピング」（加藤智子）
4. 「JOC目標設定講座」（JOC中村亘）
5. 「JOCオリンピック講話」（陸上 室伏由香）
6. 「心理学」（JISS實宝希祥）
7. 「競技規則とマナー」（岡田純一）
8. 「インテグリティ教育」「世界情勢」（小宮山哲雄）

9. 「ナショナルトップ選手講話」(村上英士朗)
10. 実技講習等

(4) ジュニアユース研修合宿

都道府県協会よりの優秀競技者の情報及び各種競技会の成績を基に、優秀な中学生及び高校1年生を対象に全国を6地区に区分して研修合宿を実施した。

期 間 : 2019年12月21日～12月25日(4泊5日)

場 所 : 全国を(北海道・東北、関東、北信越・東海、近畿、中国・四国、九州)6地区に分けて実施する。

指導者 : 各地区合計29名

参加者 : 各地区合計58名

2. 2024年・2028年対策競技者発掘・育成事業支援

2024年パリ・2028年ロサンゼルスオリンピック対策として、都道府県で競技者の発掘・育成をする事業について案内したが、本年度の申請都道府県はなかった。

3. 公益財団法人日本スポーツ協会主催「ジャパンライジングスタープロジェクト」タレント発掘事業への参加

平成29年度より、日本スポーツ協会主催の全国から中学生・高校生の異種目競技からの転向タレント発掘事業が6競技団体において実施された。本競技団体も指定され本年度も継続して実施されることから若い層のタレント発掘事業を継続している。山梨県協会においては協力県として継続して合宿等を行った。

・実行委員会設立

委員長	小宮山哲雄(専務理事・選手強化本部長)
副委員長	菊田三代治(選手強化副本部長)
副委員長	舟喜信生()
委員	野口友里(日本スポーツ協会国体推進部部長代理)
委員	窪田正典(山梨県スポーツ協会スポーツ振興課長)
委員	武井多加志(日本協会理事・選手強化委員) ※実施担当者
委員	堀越典昭(選手強化委員)
委員	青木延明(選手強化委員)
委員	小畑直之(選手強化委員)
委員	岡部伸二(山梨県強化主任)
委員	加納 修(日本協会事務局長)
事務担当者	坂上一雄(日本協会事務局員)

・2019年度3期生(10名)

・内藤仁雄(東京都 中学2年生)	・中込志弥(山梨県 中学2年生)
・小池いろは(山梨県 中学1年生)	・長谷中咲里(岐阜県 中学2年生)
・富田乃愛(滋賀県 中学1年生)	・田中陽光(愛媛県 中学2年生)
・脇長 葵(愛媛県 中学1年生)	・斉藤朱音(愛媛県 中学1年生)
・松原 尊(福岡県 中学1年生)	・伊藤羽絃(福岡県 中学2年生)

・研修合宿実施

第1回合宿	令和元年12月26日～28日	山梨県山梨市民総合体育館
第2回合宿	令和2年 2月22日～24日	山梨県山梨市民総合体育館

III. 振興・教育事業

会員の状況及び役員・選手の登録を把握し、競技者規程・競技規則の周知、記録の公認、審判員の養成、国際交流、アンチドーピング活動及びコンプライアンスの徹底等は、競技の透明性や公平・公正性を向上させることに繋がり、安全かつ公正な環境下でスポーツに参画できる機会を充実させるための基礎条件である。スポーツを通じて、他者を尊重しこれを共同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度等を培っていくためにも重要であることから次の事業を行った。

(1) スポーツ外交の推進

2017年に世界の役員獲得ができたため、2020東京オリンピック開催成功に向けて役員を各事業へ参加させた。また、IWFの役員及び諸外国より来邦がより多くなった

ため交流を持った。

(2) 生涯スポーツの振興

2021 関西ワールドマスターズ大会が徳島県で開催されるが、マスターズ層も年齢関係なく健康保持増進のため、力強く、楽しく競技を行っている選手がいる。目標を持ち人生においても生涯スポーツとして IWF ワールドマスターズ大会へ参加した。

大会会期： 2019年8月16日～24日

場 所： カナダ国 モントリオール州

参加者： 男子19名

(3) 情報の収集と情報誌の発刊

- ① IWF 及び AWF の会議及び大会に代表者を派遣し、情報収集と併せて IWF・AWF との連携を図るため役員を派遣した。

・アジア選手権大会 (AWF 関係会議)

期日：2019年 4月18日～28日 場所：中華人民共和国 寧波市

会議出席者 三宅義行 小宮山哲雄 知念令子

・世界ジュニア選手権大会 (IWF 関係会議)

期日：2019年 6月1日～8日 場所：フィジー共和国 スバ市

会議出席者 三宅義行 上坂忠正

・世界選手権大会 (IWF 関係会議) 及び IWF 総会

期日：2019年 9月18日～9月27日 場所：タイ王国 パタヤ市

会議出席者 三宅義行 上坂忠正 小宮山哲雄

・アジアユース・ジュニア選手権大会 (AWF 関係会議) 不参加のため派遣なし

期日：2019年 10月20日～10月27日 場所：北朝鮮 平壤市

- ② スポーツ振興くじの助成を受けて、平成30年度年鑑、会報132号、会報133号、会報134号を発刊した。主な内容は次のとおり。

年鑑：平成30年度の協会主催競技会及び主要国際大会の成績

協会組織図、協会役員名簿、都道府県協会役員名簿、平成30年度事業、公認最高記録及び記録樹立表、ランキング表等

会報：2019年度事業計画、各種事業報告、大会講評、ブロック大会以上の競技会及び主要国際大会の成績報告

(4) 用器具等の検定及び公認

記録競技（重量）であることから、バーベルはじめ用器具が適確でなければならない。本協会器具公認認定規則に基づき、高品質で絶対の安全性と機能性のあることを確認するなかで申請のあった器具に対して認定手続きをした。

(5) 顕彰

本協会表彰規程に基づき、功労賞、優秀選手賞、優秀指導者賞の表彰を、また、役員等の感謝状贈呈に関する基準により顕彰を行う。

令和元年度の表彰式は臨時社員総会時に行う予定であったが“新型コロナウイルス感染拡大防止”のため中止となった。表彰者は下記の方である。

記

[功労賞] (12名)

氏名	所属	役職	該当項目
①稲岡 脈雄 (63歳)	北海道協会	現 会長	第3条2(2) (昭和55年～39年間)
②加賀谷 富雄 (67歳)	秋田県協会	現 副会長	第3条2(2) (昭和57年～37年間)
③後藤 直樹 (59歳)	神奈川県協会	現 副理事長	第3条2(2) (平成4年～27年間)
④梅原 健 (50歳)	神奈川県協会	現 理事	第3条2(2) (平成10年～21年間)
⑤市川 秀俊 (70歳)	長野県協会	現 副会長	第3条2(2) (昭和46年～48年間)
⑥牛山 成剛 (64歳)	長野県協会	現 理事長	第3条2(2) (昭和60年～34年間)
⑦嶽 桂輔 (51歳)	石川県協会	現 常任理事	第3条2(2) (平成3年～28年間)
⑧大川 克弘 (64歳)	大阪協会	現 理事長	第3条2(2) (平成3年～28年間)
⑨中島 政幸 (67歳)	鳥取県協会	現 会長	第3条2(2) (昭和60年～32年間)

⑩畑中 正博 (57歳)	徳島県協会	現 常任理事	第3条2(2) (平成 2年～ 29年間)
⑪平仲 康 (57歳)	沖縄県協会	現 理事長	第3条2(2) (平成 7年～ 24年間)
⑫平良 朝明 (55歳)	沖縄県協会	現 副理事長	第3条2(2) (平成 8年～ 23年間)

[優秀選手賞] (17名、・印の方)

第3条 第3項 (1) 該当

階級	氏名	(所属)	対象大会	
・①男子 89kg級	山本俊樹	(ALSOK)	2019世界選手権大会	第5位
・②女子 59kg級	安藤美希子	(FAコンサルティング株式会社)	2019世界選手権大会	第5位
・③男子 61kg級	糸数陽一	(警視庁)	2019世界選手権大会	第6位
・④男子 67kg級	近内三孝	(日本大学・職)	2019世界選手権大会	第6位

第3条 第3項 (2) 該当

階級	氏名	(所属)	対象大会	
①男子 89kg級	山本俊樹	(ALSOK)	2019アジア選手権大会	第3位
・②男子 102kg級	田中太郎	(自衛隊体育学校)	2019アジア選手権大会	第3位
・③男子 55kg級	久保海斗	(日本大学3年)	2019世界ジュニア選手権大会	第2位
・④男子 55kg級	山口優人	(名古屋産業大学1年)	2019世界ジュニア選手権大会	第3位
・⑤女子 81kg級	中島一馨	(飯田高校3年)	2019世界ユース選手権大会	第3位

第3条 第3項 (3) 該当なし

第3条 第3項 (4) 該当

階級	氏名	(所属)	※樹立記録は最高重量		
①男子 61kg級	糸数陽一	(警視庁)	S 135kg	C&J 164kg	T 298kg
②男子 67kg級	近内三孝	(日本大学・職)	S 143kg	C&J 175kg	T 317kg
・③男子 77kg級	宮本昌典	(東京国際大学・職)	S 151kg	C&J 190kg	T 341kg
・④男子 81kg級	木下竜之	(福井県スポーツ協会)	S 152kg	C&J	T
⑤男子 89kg級	山本俊樹	(ALSOK)	S	C&J 208kg	T 368kg
⑥男子 102kg級	田中太郎	(自衛隊体育学校)	S 170kg	C&J	T
・⑦男子 109kg級	白石宏明	(自衛隊体育学校)	S	C&J 220kg	T
・⑧男子 109kg級	持田龍之輔	(ALSOK)	S	C&J 221kg	T
・⑨男子+109kg級	村上英士朗	(銀盤酒造株式会社)	S 188kg	C&J 231kg	T 416kg
・⑩男子 81kg級	宍戸大輔	(日本大学3年)	S 153kg	C&J	T
⑪女子 59kg級	安藤美希子	(FAコンサルティング株)	S 98kg	C&J 127kg	T 226kg
・⑫女子 71kg級	見附絵莉	(大阪府警)	S 100kg	C&J	T
・⑬女子 81kg級	知念ひめの	(平成国際大学4年)	S	C&J 127kg	T
・⑭女子 64kg級	山本真鼓	(名古屋産業大学大学院)	S 97kg	C&J 122kg	T 219kg

[優秀指導者賞] 優秀選手を指導した指導者 (15名) ※所属は指導していた当時

氏名	所属	対象選手
① 三石悦雄	千葉県協会	・ ・ ・ 安藤美希子選手 の指導者
② 山田政晴	ALSOK	・ ・ ・ 山本俊樹選手・持田龍之輔 の指導者
③ 稲垣英二	警視庁	・ ・ ・ 糸数陽一選手 の指導者
④ 竹俣壽郎	日本大学(教)	・ ・ ・ 近内三孝選手 の指導者
⑤ 堀越典昭	自衛隊体育学校	・ ・ ・ 田中太郎選手 の指導者
⑥ 新井健一	日本大学(教)	・ ・ ・ 久保海斗選手 の指導者
⑦ 鈴木大智	名古屋産業大学(職)	・ ・ ・ 山口優人選手 の指導者
⑧ 浅田久美	飯田高校顧問	・ ・ ・ 中島一馨選手 の指導者
⑨ 三宅敏博	東京国際大学(職)	・ ・ ・ 宮本昌典選手 の指導者
⑩ 佐藤公治	滑川高校(教)	・ ・ ・ 村上英士朗選手 の指導者
⑪ 平井一正	名古屋産業大学(教)	・ ・ ・ 山本真鼓選手 の指導者
⑫ 鈴木和美	自衛隊体育学校	・ ・ ・ 白石宏明選手 の指導者
⑬ 大川克弘	大阪府警	・ ・ ・ 見附絵莉選手 の指導者

- ⑭ 野澤雄一：平成国際大学（職）・・・ 知念ひめの選手 の指導者
 ⑮ 清水涼太：日本大学コーチ・・・ 宍戸大輔選手 の指導者

(6) アンチ・ドーピング活動

現在海外の本競技ではドーピング違反行為によりスポーツの価値を損ない、フェアプレイの精神が欠如しかかっている。競技者の健康を害する、反社会的行為であるドーピングに対する啓発と検査実施を日本でも違反者を出さないためにも次の事業を行った。

① 啓発・教育活動

- ・ J A D Aが作成したドーピング防止ガイドブック (PLAY TRUE)を指導者・選手に配付 (2,000部) し情報を提供した。文書にて各都道府県協会に各種情報を伝達した。
- ・ 各種競技会前の監督会議にて最新情報を伝達し、啓発・教育活動を行った。
- ・ アウトリーチを全国高等学校選手権 (男女) 及び国民体育大会で開催した。

② 講習会・研修会の開催

スポーツ振興くじの助成及びJ A D Aの助成を受けて、次の事業を実施した。

- ・ オリンピック候補選手対象講習会
 4月12日 味の素ナショナルトレーニングセンター
 講習者 : 加藤智子
 対象人数 : 10名
 講義内容 : IWFが運用しているeラーニング (#iLIFT CLEAN) の実施を中心にアスリートとして日常の注意点、最新の情報について
- ・ 世界ジュニア代表選手・指導者講習会
 5月3日 味の素ナショナルトレーニングセンター
 講習者 : 加藤智子
 対象人数 : 21名
 講義内容 : アンチ・ドーピング概論、ウエイトリフティング競技の現状、IWFが運用しているeラーニング (#iLIFT CLEAN) の実施
- ・ 全国高校女子選手権大会参加者講習会およびアウトリーチ
 7月15・16日 長野県松本市 松本市総合体育館
 講習者 : 齋藤里香・笠井武広 (協力アスリート)
 対象人数 : 212名
 講義内容 : アンチ・ドーピング概論、日常生活の注意点、薬についての問い合わせ方法や検索方法等を実際に体験
- ・ 全国高校総合体育大会参加者講習会およびアウトリーチ
 8月4・5日 沖縄県糸満市 西崎運動公園体育館
 講習者 : 加藤智子・齋藤里香・笠井武広 (協力アスリート)
 対象人数 : 328名
 講義内容 : アンチ・ドーピング概論、日常生活の注意点、薬についての問い合わせ方法や検索方法等を実際に体験
- ・ 全日本社会人・女子選抜選手権大会参加者講習会
 11月22日 鹿児島県薩摩川内市
 講習者 : 加藤智子
 対象人数 : 133名
 講義内容 : 国内の最新情報、ウエイトリフティング競技の国内外の現状、日常生活の注意点
- ・ 大学生研修合宿参加者講習会
 9月16日 味の素ナショナルトレーニングセンター
 講習者 : 曾根良太
 対象人数 : 29名
 講義内容 : アンチ・ドーピング概論、ウエイトリフティング競技の現状、日常生活で注意点
- ・ ジュニアエリート研修合宿参加者講習会
 12月23日 味の素ナショナルトレーニングセンター
 講習者 : 加藤智子
 対象人数 : 42名

講義内容：アンチ・ドーピング概論、基礎的な知識と情報の入手方法を共有。
アンチ・ドーピング活動の意義、日常生活の注意点

- ・ 東北地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会
12月22日 宮城県柴田高等学校
- ・ 関東地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会
12月23日 茨城県石岡第一高等学校
- ・ 北信越地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会
12月23日 石川県金沢学院高等学校
- ・ 近畿地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会
12月24日 京都部加悦谷高等学校
- ・ 中国地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会
12月24日 山口県下関工業高等学校
- ・ 九州沖縄地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会
12月25日 KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園トレーニング場
上記、ジュニアユース研修合宿の内容は「アンチ・ドーピング概論、情報入手方法を共有、アンチ・ドーピング活動の意義、競技の現状の話題」を提供した。
- ・ 各地区高校選抜大会参加者講習会
1月 各地区高校選抜大会開催地
監督会議にて「アンチ・ドーピングに関する最新情報の提供、日常生活での注意」を講習を行った。

③ ドーピング検査

- ・ スポーツ振興くじの助成及びJADAの助成を受けて、競技会検査を実施した。
- ・ 2020東京オリンピックテストイベント（日韓中フレンドシップ大会）でのドーピング検査（尿42検体、血液17検体）を実施した。
- ・ 国内大会では全日本選手権大会及び国民体育大会等においてドーピング検査（尿39検体、血液7検体）を行った。

④ TUE申請大会の指定によるその実践

世界選手権大会等の国際大会出場者には、TUEの申請が不可欠である。国内競技会においては徹底されていない状況であることから、国民体育大会監督会議時に徹底を図りアンチ・ドーピングの意識高揚を促した。

⑤ ADAMSへの居場所情報報告の徹底

- ・ JOC認定の強化指定選手及びIWFからの指定選手並びに国際大会参加選手は、居場所情報をJADAに報告する義務がある。報告をしないこと及び居場所情報に基づく競技会外検査で所定の場所にいない場合は居場所情報違反としてペナルティーの対象となることから報告の徹底を指導した。
- ・ 報告の確認・督促、他の選手の情報提供等をメールし未提出が無いよう周知した。

(7) 審判員の資質向上

① 審判講習会の開催

本協会の競技規則の確認、判定の公正・公平性などを取り入れた審判員の資質の向上を目的に次の講習会を実施した。

- ・ 対象者： 国内1級審判資格、国際審判資格所持者（義務研修）及び2019年、2020年度に国内1級審判を受験希望する審判員を対象とした。
- ・ 講習会： 北海道ブロック
期日： 2019年 8月17日（土）
場所： 北海道 士別市総合体育館
講師： 岡田純一 受講者： 9名
東北ブロック
期日： 2019年 8月23日（金）
場所： 福島県福島市 福島グリーンパレス
講師： 鈴木庄寿 受講者： 57名
関東ブロック
期日： 2019年 9月21日（土）
場所： 東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター
講師： 磯村賢一 受講者： 43名

北信越ブロック

期日 : 2019年 8月26日(土)
場所 : 石川県川北町 サンアリーナ
講師 : 牛山成剛 受講者 : 39名

東海ブロック

期日 : 2019年 8月24日(土)
場所 : 三重県四日市市
講師 : 鶴野裕子 受講者 : 18名

近畿ブロック

期日 : 2019年 8月18日(日)
場所 : 奈良県立橿原体育館(ジェイテクトアリーナ)
講師 : 島田隆宏 受講者 : 65名

中国ブロック

期日 : 2019年 8月17日(土)
場所 : 島根県 出雲農林高等学校
講師 : 長谷章一 受講者 : 16名

四国ブロック

期日 : 2019年 8月17日(土)
場所 : 愛媛県 新居浜市
講師 : 瀬部浩司 受講者 : 23名

九州ブロック

期日 : 2019年 8月16日(金)
場所 : 佐賀県武雄市 武雄センチュリーホテル
講師 : 守 昌宏 受講者 : 42名

沖縄(特別開催)

期日 : 2019年 7月28日(日)
場所 : 沖縄県糸満市西崎総合体育館
講師 : 岡田純一 受講者 : 9名

- ② 国際大会へ審判員等を派遣し、資質の向上を図ると同時に国際基準での競技運営能力の向上にも努めた。また、7月日本で開催の2020東京オリンピックのリハーサル大会として、日・韓・中フрендシップ大会をテストイベントとして開催し、ITO、NTO、競技運営に携わる役員、ボランティア等多くの方が参加して本番さながらの競技運営を行った。本大会に向けて、指示系統、選手、観客の動線、ボランティアの活動等の課題も見つかった。

・ アジア選手権大会

派遣期間 : 2019年4月18日～28日
場 所 : 中華人民共和国 浙江省 寧波市
派遣人数 : 2名(知念令子、加藤智子)

・ 世界ジュニア選手権大会

派遣期間 : 2019年6月1日～6月8日
場 所 : フィジー共和国 スヴァ市
派遣人数 : 1名(島田隆宏)

・ 日韓中フрендシップ大会(2020東京テストイベント:リハーサル大会)

大会期間 : 2019年7月6日～7月7日
場 所 : 東京都 国際東京フォーラム
参加人数 : 21名(磯村賢一、井本 勝、植田 洋、上田 貢、牛山成剛、遠藤千景、岡田純一、加藤智子、佐古 浩、島田隆宏、島袋隆之、末廣 誠、武井多加志、知念秀樹、鶴野裕子、豊田廣和、中嶋耕平、新井谷まさよ、西山 陽、長谷章一、舟喜信生)

・ 世界選手権大会

派遣期間 : 2019年9月18日～9月27日
場 所 : タイ王国 パタヤ市
派遣人数 : 2名(岡田純一、米山喜平)

・ 2019 IWF ワールドカップ選手権大会

派遣期間 : 2019年12月8日～12月12日

- 場 所 : 中華人民共和国 天津市
- 派遣人数 : 2名 (知念令子、加藤智子)
- ・ 2020アジアジュニア・ユース選手権大会
- 派遣期間 : 2020年2月12日～2月20日
- 場 所 : ウズベキスタン共和国 タシケント市
- 派遣人数 : 2名 (武井多加志、知念令子)

(8) 審判員の審査と認定

申請に基づき公認審判員の審査を行い、適確に認定を行う。新たな会員登録システムにおいて審判員の管理をした。

[令和元年度認定数]

国内3級 54名 国内2級 23名 国内1級 8名
 国際2級 5名 国際1級 2名

[述べ登録者]

国内3級438名 国内2級304名 国内1級259名
 国際2級 67名 国際1級 47名

(9) 競技規則集の販売

平成29年度に更新した競技規則集を希望者に販売した。

(10) 暴力、パワハラ、セクハラ等撲滅活動及び選手・指導者の資質向上

- ・ 暴力、パワハラ、セクハラ等の相談窓口の設置
 些細なことでも相談できるシステムとして、本協会のホームページ（トップページ）に「STOP ハラスメント・暴力」相談窓口を開設しており、メール送信できるようになっている。
- ・ 暴力、パワハラ、セクハラ、倫理に係わる研修
 次の研修会・総会・会議等を通じて研鑽を深めた。
 全国指導者研修会
 全国高等学校体育連盟ウエイトリフティング専門部全国委員会
 全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技会監督会議
 全日本学生ウエイトリフティング連盟総会
 全国理事長会議
- ・ 日本オリンピック委員会事業のインテグリティ教育を選手及び指導者も受講し、より質の高い選手育成及び指導者養成を図った。
- ・ 本協会独自のインテグリティ教育を実施、ナショナル及び次世代育成合宿時、遠征前の事前合宿において指導者および選手に、JOC作成のビデオ視聴、軽率な行動を取らない、巻き込まれない、常に競技を考える等を講習会の中で取り入れた。

(11) ホームページの充実整備

法人として公開しなければならない情報はもとより、役員・選手のニーズに合わせた内容及び一般のユーザーの要望にも応えられるよう情報を掲載した。また、フェイスブック等のSNSにより各種大会及び合宿等をリアルタイムに掲載した。

(12) 記録の公認

- ① 2019年1月1日より日本は階級変更し、スタンダード記録が設定された。競技・競技会規則Ⅷに基づき、日本記録を認定し公表した。公認の区分は男女10階級で、日本記録、ジュニア日本記録、大学記録、高校記録、中学記録、マスターズ記録である。以下は2019年の各日本記録樹立数である。

男子	日本	Jr日本	大学	高校	中学	マスターズ	合計
	38	15	10	5	10	44	122
女子	日本	Jr日本	大学	高校	中学	マスターズ	合計
	13	3	16	10	31	20	93

IV. 大会開催事業

1. 国内大会開催事業

競技力の向上、競技の普及・振興、生涯スポーツの振興発展ため、次の大会を開催した。
なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になった大会もあった。

- ① 大会名：第65回全日本学生個人選手権大会・第31回全日本女子学生選手権大会
期 日：平成31年4月26日～4月28日
会 場：大阪府羽曳野市 羽曳野コロセアム
内 容：参加者 男子108名 女子54名
最優秀選手 男子 55kg級 東野凌太 (大阪商業大学4年)
" 女子 81kg級 知念ひめの (平成国際大学4年)
新記録樹立 大学新 2
- ② 大会名：第79回全日本選手権大会・第33回全日本女子選手権大会
期 日：令和元年5月24日～5月26日
会 場：岩手県奥州市 江刺中央総合体育館
参加者 男子77名 女子71名
新記録樹立 日本新9、高校新2
- ③ 大会名：第21回全国高等学校女子選手権大会
期 日：令和元年7月20日・21日
会 場：長野県松本市 松本市総合体育館
内 容：参加者 女子201名
新記録樹立 高校新1
団体成績 1位 飯田高校 67点 2位 香川中央高校 50点
3位 埼玉栄高校 45点 4位 明石南高校 45点
5位 倉敷商業高校 42点 6位 滑川高校 36点
- ④ 大会名：第37回全日本マスターズ選手権大会
期 日：令和元年7月25日～7月28日
会 場：宮崎県宮崎市 宮崎県総合運動公園
内 容：参加者 男子174名 女子16名
新記録樹立 マスターズ日本新54
- ⑤ 大会名：第66回全国高等学校選手権大会
期 日：令和元年7月31日～8月3日
会 場：沖縄県糸満市 西崎運動公園体育館
内 容：参加者 男子400名
団体成績 1位 飯田高校 64点 2位 尼崎工業高校 51点
3位 柴田高校 39点 4位 日大藤沢高校 34点
5位 若狭東高校 33点 6位 下関国際高校 33点
7位 坂井高校 30点 8位 水島工業高校 29点
- ⑥ 大会名：第33回全国男子中学生選手権大会・第18回全国女子中学生選手権大会
期 日：令和元年8月8日・9日
会 場：山梨県山梨市 山梨市民総合体育館
内 容：参加者 男子78名、女子71名
新記録樹立 中学新14
- ⑦ 大会名：第74回国民体育大会
期 日：令和元年10月2日～10月6日
会 場：茨城県高萩市 高萩市文化会館
内 容：参加者 成年男子158名 少年男子137名 女子47名
新記録樹立 日本新3、ジュニア日本新3、大学新2、高校新2
団体成績
〔天皇杯総合成績〕
1位 福井県 97点 2位 三重県 91点 3位 茨城県 90点
4位 岡山県 77点 5位 兵庫県 75点 6位 香川県 70点
7位 福島県・沖縄県 69点
〔皇后杯総合成績〕

1位	茨城県	36点	2位	福井県	33点	3位	群馬県	32点
4位	千葉県	27点	5位	三重県	25点	6位	岡山県	24点
7位	香川県	23点	8位	栃木県	22点			

- ⑧ 大会名：文部科学大臣杯第65回全日本大学対抗選手権大会2部
 文部科学大臣杯第20回全日本大学対抗女子選手権大会2部

期 日：令和元年11月2日・3日

会 場：大阪府羽曳野市 はびきのコロセアム

内 容：参加者 男子

新記録樹立 ジュニア日本新2

〔男子団体順位〕

1位	平成国際大学	172点	2位	大阪商業大学	153点
3位	仙台大学	87点	4位	近畿大学	86点
5位	慶應義塾大学	85点	6位	福岡大学	70点
7位	立命館大学	65点	8位	京都産業大学	44点

〔女子団体順位〕

1位	九州国際大学	86点	2位	仙台大学	62点
3位	名古屋産業大学	43点	4位	びわこ成蹊スポーツ大学	35点
5位	立教大学	34点	6位	関西大学	27点
7位	大阪商業大学	5点	8位	慶應義塾大学	3点

- ⑨ 大会名：文部科学大臣杯第65回全日本大学対抗選手権大会1部
 文部科学大臣杯第20回全日本大学対抗女子選手権大会1部

期 日：令和元年11月15日～11月17日

会 場：埼玉県上尾市 埼玉県スポーツ総合センター体育館

内 容：参加者 男子100名 女子47名

新記録樹立 日本新1 ジュニア日本新3、大学新2-6

〔男子団体順位〕

1位	日本大学	183点	2位	法政大学	141点
2位	九州国際大学	141点	4位	中央大学	140点
5位	早稲田大学	100点	6位	明治大学	92点
7位	東京国際大学	91点	8位	日本体育大学	67点
9位	金沢学院大学	64点	10位	名古屋産業大学	58点

〔女子団体順位〕

1位	東京国際大学	96点	2位	早稲田大学	94点
3位	金沢学院大学	69点	4位	日本体育大学	68点
5位	平成国際大学	61点	6位	立命館大学	34点

- ⑩ 大会名：内閣総理大臣杯第56回全日本社会人選手権大会
 レディースカップ第11回全日本女子選抜選手権大会

期 日：令和元年11月22日～11月26日

会 場：鹿児島県薩摩川内市 入来総合運動場体育館

内 容：参加者 男子136名 高校女子79名 一般女子106名

新記録樹立 日本新6 ジュニア日本新1 高校新1

〔全日本社会人選手権大会 団体順位〕

1位	警視庁	102点	2位	チームめじろん	77点
3位	自衛隊体育学校	70点	4位	チェスト鹿児島A	63点
5位	チームSHIGA	58点	6位	兵庫KGDR	52点
7位	大阪府警	51点	8位	トヨタ自動車(株)	49点

△部門別順位(地域スポーツクラブチーム)

1位	チームめじろん	77点
2位	チェスト鹿児島A	63点
3位	チームSHIGA	58点

△部門別順位(官公庁等チーム)

1位	警視庁	102点
2位	自衛隊体育学校	70点
3位	大阪府警	51点

△部門別順位(企業チーム)

1位	トヨタ自動車(株)	49点
2位	SECOM	32点
3位	イビデン	24点

文部科学大臣賞（最優秀選手賞） 男子96kg級 赤松哲郎（大分県 チームめじろん）

〔レディースカップ女子選抜大会団体の部〕

一般の部 1位 九州国際大学 41点 2位 日本体育大学A 39点
3位 金沢学院大学A 24点
高校の部 1位 飯田高校 25点 2位 田村高校 19点
3位 香川中央高校 18点

最優秀選手賞 一般の部 女子64kg級 山本真鼓（三重県 名古屋産業大学大学院）
〃 高校の部 女子59kg級 遠藤梨李（福島県 田村高校）

- ⑬ 大会名：令和元年度第64回全日本学生新人選手権大会
期 日：令和元年12月5日～12月7日
会 場：埼玉県上尾市 スポーツ総合センター
内 容：参加者 男子104名 女子30名
新記録樹立 ジュニア日本新1
最優秀選手 男子73kg級 佐藤康太郎（宮城県 早稲田大学1年）
〃 女子64kg級 橋本 董（京都府 東京国際大学1年）
- ⑭ 大会名：令和元年度第16回全日本学生選抜選手権大会
期 日：令和元年12月7日・8日
会 場：埼玉県上尾市 スポーツ総合センター
内 容：参加者 男子24名 女子24名
新記録樹立 日本新1、大学新8
最優秀選手 男子81kg級 宍戸大輔（福島県 日本大学3年）
〃 女子71kg級 石井未来（三重県 東京国際大学4年）
- ⑮ 大会名：JOCジュニアオリンピックカップ第40回全日本ジュニア選手権大会
期 日：令和2年2月14日～2月16日
会 場：大阪府羽曳野市 はびきのコロセアム
内 容：参加者 男子47名 女子68名
新記録 高校新7 中学新4
最優秀選手 男子 山下憲一（石川県 法政大学1年）
女子 遠藤梨李（福島県 田村高校3年）
- ⑯ 大会名：第35回全国高等学校選抜大会
期 日：令和2年3月26日～3月28日
会 場：石川県金沢市 金沢市総合体育館
内 容：“新型コロナウイルス感染拡大防止”のため中止

V. 会務

本会の目的達成及び業務を達成するため、次の会議を開催した。

(1) 社員総会の開催

- ① 令和元年度 定時社員総会
- ・ 期 日 令和元年6月23日（日）
 - ・ 場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室4
 - ・ 議 題 1号議案 平成30年度事業報告及び決算報告について
2号議案 令和元・2年度役員の選任について
3号議案 令和元・2年度名誉会員の選任について
4号議案 定款変更（事務局移転に伴う登記）について
- ② 令和元年度 臨時社員総会
- ・ 期 日 令和2年3月14日（土）
 - ・ 場 所 品川プリンスホテル メインタワー3F ハイビスカス・あじさい
 - ・ 議 題 1号議案 令和2年度事業計画案について
2号議案 令和2年度予算案について

(2) 理事会の開催

- ① 第1回理事会

- ・ 期 日 令和元年 6月 8日 (土)
- ・ 場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室3
- ・ 議 題 「報告事項」
 1. 各種大会終了
 2. 日本スポーツ協会関係
 3. 2020東京オリンピック、2020東京オリンピックテストイベント
 4. 各委員会関係
 5. その他
 「協議事項」
 1. 令和元年度定時社員総会について
 - 6月7日現在 出席(12) 欠席(36) 回答なし(0)
 - ① 平成30年度事業報告・決算報告について
 - ② 令和元・2年度役員選任について
 - ③ 令和元・2年度名誉役員の選任及び名称について
 2. 新事務所移転に伴う承認と定款の変更について
 3. 規程の創設及び改定について
 4. 2020年東京オリンピック日本代表選考について
 5. 国際審判員の推薦について
 6. 国内審判員の認定について
 7. 正会員の承認について
 8. 2019年世界選手権大会代表選手について
 9. JOC関係委員会委員の推薦について
 10. その他

② 第2回理事会

- ・ 期 日 令和元年 6月23日 (日)
- ・ 場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室5
- ・ 議 題 「審議事項」
 1. 令和元年・2年度会長の選定について
 「報告事項」
 1. 世界ジュニア選手権大会終了
 2. JOC関係ユニバーシアード委員会代表委員選出について
 3. その他
 「審議事項」
 1. 副会長、専務理事、常務理事の選定について
 2. 各種専門委員会委員の選出について
 3. 名誉会員に関する規程の改定について
 4. 日本スポーツ協会指導者育成委員選出について
 5. 日本オリンピック委員会関係委員の選任について

③ 第3回理事会

- ・ 期 日 令和元年 9月 7日 (土)
- ・ 場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室5
- ・ 議 事 「報告事項」
 1. 各種大会終了報告
 2. 2019世界選手権大会選手団について
 3. 令和元年度第74回茨城国体選手出場について
 4. 2020東京テストイベント事業終了と本大会に向けて
 5. スポーツ団体ガバナンスコード適合検査の検討について
 6. 各委員会より
 7. 事務局より
 8. 執行理事よりの報告
 9. その他
 「審議事項」
 1. 令和元年・2年度各委員会委員承認について
 2. 規程の創設等について
 3. 国内審判員の推薦について

4. ウェイトワークアウト事業について
5. 選手強化委員会より
6. その他

④ 第4回理事会

- ・ 期 日 令和元年12月14日(土)
- ・ 場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室3
- ・ 議 事 「報告事項」
 1. 各種大会・事業終了
 - ① 2019世界選手権大会
 - ② 第74回国民体育大会
 - ③ 第65回全日本大学対抗選手権大会(2部・1部)
第20回全日本大学対抗女子選手権大会
 - ④ 第11回全日本女子選抜選手権大会・第56回全日本社会人選手権大会
 - ⑤ 第64回全日本学生新人選手権大会
 - ⑥ 第16回全日本学生選抜選手権大会
 2. 2019日韓競技力向上スポーツ交流事業報告について
 3. 2020東京オリンピック参加資格大会(第3期)選手選考について
 - ① アジア選手権大会選手選考
 - ② 2019ワールドカップ中国大会
 - ③ 東アジア選手権大会
 4. 2020東京オリンピック内定選手について
 5. IWF関係国際情報について
 6. 各種推薦について
 7. 今後の強化事業予定について
 8. 事務局より
 9. その他
- 「審議事項」
 1. 2020東京オリンピックテストイベント大会決算報告について
 2. 令和元年度1次補正予算について
 3. アスリート委員会委員の承認について
 4. 2020東京オリンピック候補特別強化選手助成について
 5. 令和元年度優秀選手・指導者の表彰について
 6. 審判委員会より
 7. 令和2年度年間行事計画(案)について
 8. その他

⑤ 第5回理事会

- ・ 期 日 令和2年 3月14日(土)
- ・ 場 所 品川プリンスホテル 3F ハイビスカス・あじさい
- ・ 議 事 「報告事項」
 1. 各種人会・事業終了
 - ① 2020アジアジュニア・ユース選手権大会終了
 - ② 第40回全日本ジュニア選手権大会終了
 - ③ アメリカ研修合宿終了
 2. 各事業の中止・延期について
 3. 選手強化委員会より
 - ① コロンビアオープンシニア選手権大会選手団について
 - ② アジア選手権大会選手団について
 - ③ 令和2年度国際大会選考基準について
 - ④ JOCジュニアオリンピック有望選手認定推薦について
 - ⑤ 令和2年度JOCコーチ設置事業推薦について
 - ⑥ 2020東京オリンピック選手選考ランキング表作成について
 - ⑦ 2020東京オリンピック開催国参加枠獲得システム変更について

4. 競技委員会より
 - ① 全日本選手権大会参加資格について
 - ② 2019年新記録認定について
 5. 各種募集について
 6. 業務執行理事より報告
 7. その他
- 「審議事項」
1. 令和2年度事業計画案と予算案について（臨時社員総会議題）
 2. 公認審判員の認定と全国大会の審判編成について
 3. 競技規則の改定と公式記録員の認定について
 4. その他

VI. 財政の確立

各種事業の推進に、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本スポーツ協会、外務省、スポーツ庁、公益財団法人ミズノスポーツ振興財団等に対し、助成金・委託金・補助金等の要望・申請を行い、本会の事業実施への充當財源に充てることが出来た。

財政基盤確立のため、定款に基づく賛助会員の募集を行い例年以上の収入となった。平成30年度より、特定資産準備金の活用により蓄えることが出来た。また、公益法人認定後は、本法人が免税募金を主体的に実施できることから、加盟団体及び関係者に広く募金を呼び掛けた。

- ・ 協賛企業の継続を促し協賛契約締結を結んだ。
- ・ 国内大会開催等おける、大会広告スポンサー獲得を行った。

VII. 2020年に向けての計画及び2024年・2028年に向けて

(1) 選手強化計画

- ① あと1年後に迫った2020東京オリンピック対策特別強化プランに基づき次の強化を行った。しかし、3月24日IOCと東京オリンピック・パラリンピック組織委員会は“新型コロナウイルス感染拡大防止”により、1年程度の延期を発表し、現在事業が中断されている。
 - ・ 2019年11月世界選手権大会以降の東京オリンピック出場参加枠獲得
 - ・ 2020年の東京オリンピック大会の出場目標人数の設定
女子：開催国枠3名+1名（最大数） 男子：開催国枠3名+1名（最大数）
 - ・ 2020年の東京オリンピック大会の目標
女子：複数メダル獲得と全員入賞 男子：メダル獲得と全員入賞
- ② 4年後の2024年パリ、8年後の2028年ロサンゼルスオリンピックに向けて、中学生、高校生、大学生の育成強化「次世代アスリート育成」事業を実施した。
- ③ PDC Aサイクルの確認に基づく強化計画再考
- ④ 指導者の育成

(2) 競技の普及振興対策

① 5000人対策プロジェクト

- ・ 年度当初、登録選手数（現在：選手のみ3500人）を1500人増やし5000人としたが、なかなか登録数を増やすことが難しかった。
- ・ メディアとの交流会をもって親睦を深めた。
- ・ 小学生の大会は山梨県で行われた全国中学生選手権大会の前座で開催した。今後も小学生の参加できる大会を検討する。

○役員・選手の登録

年度	区分	役員 役員兼選手	選 手					合計
			一般	大学	高校	中学	小学	
平成27年度	総数	1,290	441	521	2,116	147	39	4,554
	男子	1,197	395	446	1,754	68	17	3,877
	女子	93	46	75	362	79	22	677

平成28年度	総数	1,288	494	549	2,107	142	43	4,623
	男子	1,190	440	462	1,737	81	27	3,937
	女子	98	54	87	370	61	16	686
平成29年度	総数	1,308	479	570	2,178	154	59	4,748
	男子	1,207	427	473	1,764	91	37	3,999
	女子	101	52	97	414	63	22	749
平成30年度	総数	1,295	506	608	2,069	150	53	4,681
	男子	1,184	457	496	1,622	87	33	3,879
	女子	111	49	112	447	63	20	802
令和元年度	総数	1,291	515	602	1,944	172	59	4,583
	男子	1,175	455	486	1,505	110	37	3,768
	女子	116	60	116	439	62	22	815

○賛助会員数 119名

(3) 国際発信力、国際大会運営能力の向上

① IWF及びAWF役員ポストの確保

・2020年アジア連盟選挙及び2021年国際連盟選挙にて、理事・各委員会のポスト確保を目指し、JOCの役員獲得事業を活用しロビー活動を行った。

② 世界・アジアの各選手権大会及び国際総合大会へのテクニカルオフィシャルの派遣による国際大会運営能力の向上を行った。

③ 2019年7月2020東京オリンピック大会のテストイベントとしてリハーサル大会を開催（国際大会の日本開催）した。

(4) 組織運営（ガバナンス、コンプライアンスの向上）

令和元年6月にスポーツ庁が策定した「スポーツ団体ガバナンスコード」の遵守のため、自己説明や公表、令和3年の適合審査の準備を進めた。

① 担当役員を決め、具体的な日程策定や規程の制定、改定の準備を行った。

② 役員（事務局）学習会を開催した。

・期 日 令和元年12月14日（土）

・場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室3

・演 題 「国内競技団体が果たすべき社会的責任」

・講 師 JOC総合支援センター室 高橋 睦雄氏

③ アスリート委員会を設置した。

(5) 財政の確立

○免税募金の募集、協賛会員の拡大、スポンサー等の拡大

令和元年度は、順調にスポンサー、免税募金等の協力収入はあったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2020東京オリンピックが1年延期になり、各企業の業績も悪化が予想されるため、次年度以降の予算組みが困難になってくる。また、令和2年度途中で契約が切れるスポンサーもあるため継続依頼を行う。

【附属明細書の作成について】

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書は作成しない。

令和元年度決算報告

令和元年度公益社団法人日本ウエイトリフティング協会決算に関する書類

(1) 貸借対照表

令和2年3月31日現在

科 目	当年度	前年度	増 減
	円	円	円
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	△ 29,164,130	864,031	△ 30,028,161
貯藏品	434,333	422,992	11,341
未収金	36,493,442	49,237,314	△ 12,743,872
前払費用	0	0	0
流動資産合計	7,763,645	50,524,337	△ 42,760,692
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	7,000,652	7,000,652	0
基本財産合計	7,000,652	7,000,652	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	360,000	0	360,000
選手強化交付金事業積立資金	94,000,000	24,000,000	70,000,000
特定資産合計	94,360,000	24,000,000	70,360,000
(3) その他の固定資産			
什器備品	457,470	618,939	△ 161,469
ソフトウェア	947,970	1,556,010	△ 608,040
建物附属設備	463,833	0	463,833
一括償却資産	567,294	0	567,294
保証金	1,026,000	0	1,026,000
出資金	100,000	100,000	0
長期前払費用	24,728,169	0	24,728,169
その他の固定資産合計	28,290,736	2,274,949	26,015,787
固定資産合計	129,651,388	33,275,601	96,375,787
資産合計	137,415,033	83,799,938	53,615,095
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,424,942	5,583,213	841,729
前受金	0	347,805	△ 347,805
預り金	299,756	837,818	△ 538,062
流動負債合計	6,724,698	6,768,836	△ 44,138
2. 固定負債			
長期前受収益	11,351,500	0	11,351,500
退職給付引当金	360,000	0	360,000
固定負債合計	11,711,500	0	11,711,500
負債合計	18,436,198	6,768,836	11,667,362
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
補助金等			
日本オリンピック委員会交付金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(7,000,652)	(7,000,652)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(94,360,000)	(24,000,000)	(70,360,000)
正味財産合計	118,978,835	77,031,102	41,947,733
負債及び正味財産合計	137,415,033	83,799,938	53,615,095

(2) 正味財産増減計算書

平成31年4月1日 から 令和2年3月31日 まで

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	742	2,214	△ 1,472
受取会費			
正会員受取会費	2,400,000	2,400,000	0
賛助会員受取会費	1,260,000	1,390,000	△ 130,000
その他の受取会費			
受取登録料			
受取役員登録料			
役員登録料	3,696,000	3,776,000	△ 80,000
役員兼選手登録料	6,632,000	6,584,000	48,000
受取選手登録料			
一般選手登録料	2,575,000	2,530,000	45,000
大学生選手登録料	1,806,000	1,824,000	△ 18,000
高校生選手登録料	3,888,000	4,138,000	△ 250,000
中学生選手登録料	172,000	150,000	22,000
小学生選手登録料	59,000	53,000	6,000
事業収益			
認定料			
器具認定料	648,000	1,138,500	△ 490,500
審判認定料	567,000	704,000	△ 137,000
審判更新認定料	3,282,000	219,000	3,063,000
競技規則集等販売料	29,000	35,000	△ 6,000
審判ハッパ販売料	18,000	10,000	8,000
受取負担金等			
受取出版物負担金	480,000	480,000	0
受取審判講習会負担金	652,000	48,000	604,000
受取審判受験料	190,000	250,000	△ 60,000
テストイベント	2,740,524	0	2,740,524
大会合宿参加者負担金	2,640,000	2,475,000	165,000
壮行会報告会受取会費	220,000	60,000	160,000
受取補助金等			
日本オリンピック委員会補助金	93,045,550	95,661,470	△ 2,615,920
日本オリンピック委員会交付金	37,812,887	37,582,467	230,420
スポーツ振興基金助成金	4,125,000	4,866,000	△ 741,000
開催市助成金	840,000	645,000	195,000
スポーツ振興くじ助成金	12,567,000	17,569,000	△ 5,002,000
日本スポーツ協会交付金	837,750	755,875	81,875
ミズノスポーツ振興財団助成金	1,500,000	1,500,000	0
受取委託金等			
日本スポーツ協会委託金	784,933	517,366	267,567
国体実行委員会委託金	1,196,780	1,129,500	67,280
イベント事業委託金	194,400	0	194,400
ライジングスター事業委託金	8,559,050	0	8,559,050
国際情報戦略強化事業委託金	224,931	0	224,931
受取補助金振替額	0	5,452,217	△ 5,452,217
受取寄付金			
受取免税募金	9,185,000	3,260,000	5,925,000
受取協賛金			
スポンサー協賛金	35,686,000	43,884,000	△ 8,198,000
その他協賛金	1,936,770	474,374	1,462,396
受取協力金			
協力金	734,400	648,000	86,400

科 目	当年度	前年度	増減
雑収益			
受取利息	714	2,533	△ 1,819
受取広告協賛金	645,000	1,650,000	△ 1,005,000
雑収益	605,083	262,433	342,650
受取配当金	3,000	821	2,179
為替差益	5,727	0	5,727
移転補償金	434,757	0	434,757
經常収益計	244,879,998	244,127,770	752,228
(2) 經常費用			
事業費			
給与手当	7,137,360	8,672,210	△ 1,534,850
法定福利費	973,000	1,416,741	△ 443,741
退職給付費用	252,000	0	252,000
通勤手当	355,000	523,323	△ 168,323
旅費交通費	21,508,322	22,087,869	△ 579,547
旅行雑費	1,146,000	1,216,000	△ 70,000
渡航費	20,224,719	27,700,260	△ 7,475,541
滞在費	15,409,227	20,870,647	△ 5,461,420
宿泊費	43,998,723	28,393,759	15,604,964
雑役務費	10,737,075	13,006,075	△ 2,269,000
印刷製本費	2,654,824	2,887,702	△ 232,878
通信運搬費	801,986	1,008,828	△ 206,842
会議費	95,812	8,000	87,812
交際費	123,500	0	123,500
検査料	101,726	6,136,269	△ 6,034,543
保険料	924,868	1,135,960	△ 211,092
消耗品費	2,024,393	2,403,875	△ 379,482
調査研究費	500,000	550,854	△ 50,854
使用料及び賃借料	4,808,314	3,601,357	1,206,957
使用料及び賃借料（共通）	5,410,100	3,668,207	1,741,893
諸謝金	11,592,587	9,024,500	2,568,087
報償費	0	150,000	△ 150,000
委託費	9,716,948	1,129,500	8,587,448
助成金	5,400,000	4,500,000	900,000
負担金	5,014,943	2,650,127	2,364,816
顕彰費	2,172,901	997,440	1,175,461
大会開催費	16,953,206	4,775,200	12,178,006
支払手数料	418,172	355,944	62,228
支払手数料（共通）	817,000	1,170,457	△ 353,457
減価償却費	161,460	26,910	134,550
雑費	27,000	1	26,999
水道光熱費	62,000	0	62,000
支払利息	0	564,065	△ 564,065
スポーツ用具費	0	26,664	△ 26,664
寄附金	0	75,900	△ 75,900
為替差損	116,835	0	116,835
普及費	220,000	0	220,000
管理費			
給与手当	3,058,868	1,063,578	1,995,290
法定福利費	416,017	157,415	258,602
退職給付費用	108,000	0	108,000
通勤手当	150,990	58,147	92,843
福利厚生費	30,994	0	30,994
旅費交通費	81,780	527,710	△ 445,930
印刷製本費	359,164	212,238	146,926
通信運搬費	795,295	807,424	△ 12,129
会議費	97,599	38,000	59,599
保険料	8,350	0	8,350

科 目	当年度	前年度	増減
消耗品費	1,468,971	256,557	1,212,414
減価償却費	922,038	668,090	253,948
水道光熱費	26,085	0	26,085
使用料及び賃借料（共通）	1,683,703	651,161	1,032,542
租税公課	3,600	12,000	△ 8,400
支払手数料（共通）	1,338,211	1,430,557	△ 92,346
雑費	522,599	209,016	313,583
経常費用計	202,932,265	176,826,537	26,105,728
当期経常増減額	41,947,733	67,301,233	△ 25,353,500
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑損失			
為替差損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	41,947,733	67,301,233	△ 25,353,500
一般正味財産期首残高	77,031,102	9,729,869	67,301,233
一般正味財産期末残高	118,978,835	77,031,102	41,947,733
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
日本オリンピック委員会交付金	0	0	0
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	0	△ 5,452,217	5,452,217
当期指定正味財産増減額	0	△ 5,452,217	5,452,217
指定正味財産期首残高	0	5,452,217	△ 5,452,217
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	118,978,835	77,031,102	41,947,733

(3) 正味財産増減計算書 内訳表

平成31年4月1日 から 令和2年3月31日 まで

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合 計
	公1 ウエイトリフティング 競技の普及・振興事業				
	円		円	円	円
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用収入			742		742
受取会費					
正会員受取会費	1,200,000		1,200,000		2,400,000
賛助会員受取会費	1,260,000				1,260,000
受取登録料					
受取役員登録料					
役員登録料	3,696,000				3,696,000
役員兼選手登録料	6,632,000				6,632,000
受取選手登録料					
一般選手登録料	2,575,000				2,575,000
大学生選手登録料	1,806,000				1,806,000
高校生選手登録料	3,888,000				3,888,000
中学生選手登録料	172,000				172,000
小学生選手登録料	59,000				59,000
事業収益					
認定料					
器具認定料	648,000				648,000
審判認定料	567,000				567,000
審判更新認定料	3,282,000				3,282,000
競技規則集等販売料	29,000				29,000
審判バッジ販売料	18,000				18,000
受取負担金等					
受取出版物負担金	480,000				480,000
受取審判講習会負担金	652,000				652,000
受取審判受験料	190,000				190,000
テストイベント	2,740,524				2,740,524
大会合宿参加者負担金	2,640,000				2,640,000
壮行会報告会受取会費	220,000				220,000
受取補助金等					
日本オリンピック委員会補助金	93,045,550				93,045,550
日本オリンピック委員会交付金	37,812,887				37,812,887
スポーツ振興基金助成金	4,125,000				4,125,000
開催市助成金	840,000				840,000
スポーツ振興くじ助成金	12,567,000				12,567,000
日本スポーツ協会交付金	837,750				837,750
ミズノスポーツ振興財団助成金	1,500,000				1,500,000
受取委託金等					
日本スポーツ協会委託金	784,933				784,933
国体実行委員会委託金	1,196,780				1,196,780
イベント事業委託金	194,400				194,400
ライジングスター事業委託金	8,559,050				8,559,050
国際情報戦略強化事業委託金	224,931				224,931
受取寄付金					
受取免税募金	9,185,000				9,185,000
受取協賛金					
スポンサー協賛金	24,686,000		11,000,000		35,686,000
その他協賛金	1,936,770				1,936,770
受取協力金					
協力金	734,400				734,400
雑収益					
受取利息	714				714
受取広告協賛金	645,000				645,000
雑収益	605,083				605,083
受取配当金	3,000				3,000
為替差益	5,727				5,727
移転補償金	434,757				434,757
経常収益計	232,679,256		12,200,742		244,879,998

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合 計
	公1 ウエイトリフティング 競技の普及・振興事業				
(2) 経常費用					
事業費					
給与手当	7,137,360				7,137,360
法定福利費	973,000				973,000
通勤手当	252,000				252,000
通勤手当	355,000				355,000
旅費交通費	21,508,322				21,508,322
旅行雑費	1,146,000				1,146,000
渡航費	20,224,719				20,224,719
滞在費	15,409,227				15,409,227
宿泊費	43,998,723				43,998,723
雑役務費	10,737,075				10,737,075
印刷製本費	2,654,824				2,654,824
通信運搬費	801,986				801,986
会議費	95,812				95,812
交際費	123,500				123,500
検査料	101,726				101,726
保険料	924,868				924,868
消耗品費	2,024,393				2,024,393
調査研究費	500,000				500,000
使用料及び賃借料	4,808,314				4,808,314
使用料及び賃借料 (共通)	5,410,100				5,410,100
諸謝金	11,592,587				11,592,587
委託費	9,716,948				9,716,948
助成金	5,400,000				5,400,000
負担金	5,014,943				5,014,943
顕彰費	2,172,901				2,172,901
大会開催費	16,953,206				16,953,206
支払手数料	418,172				418,172
支払手数料 (共通)	817,000				817,000
減価償却費	161,460				161,460
雑費	27,000				27,000
水道光熱費	62,000				62,000
為替差損	116,835				116,835
普及費	220,000				220,000
管理費					
給与手当			3,058,868		3,058,868
法定福利費			416,017		416,017
退職給付費用			108,000		108,000
通勤手当			150,990		150,990
福利厚生費			30,994		30,994
旅費交通費			81,780		81,780
印刷製本費			359,164		359,164
通信運搬費			795,295		795,295
会議費			97,599		97,599
保険料			8,350		8,350
消耗品費			1,468,971		1,468,971
減価償却費			922,038		922,038
水道光熱費			26,085		26,085
使用料及び賃借料 (共通)			1,683,703		1,683,703
租税公課			3,600		3,600
支払手数料 (共通)			1,338,211		1,338,211
雑費			522,599		522,599
経常費用計	191,860,001		11,072,264		202,932,265
当期経常増減額	40,819,255		1,128,478		41,947,733
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0		0		0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0		0		0
当期経常外増減額	0		0		0
当期一般正味財産増減額	40,819,255		1,128,478		41,947,733
一般正味財産期首残高					77,031,102
一般正味財産期末残高					118,978,835

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
	公 1 ウエイトリフティング 競技の普及・振興事業			
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等				
日本オリンピック委員会交付金	0	0		0
一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				0
III 正味財産期末残高				118,978,835

(4) 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 平成27年度から「公益法人会計基準」（平成20年4月11日、平成21年10月16日改正、内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

平成19年3月31日以前は旧定額法によっている。平成19年4月1日以降は定額法によっている。

②無形固定資産

ソフトウェアについては、利用期間（5年）に基づく定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税の経理処理は、税込方法によっている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金：期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	7,000,652	0	0	7,000,652
小 計	7,000,652	0	0	7,000,652
特定資産				
退職給付引当資産	0	360,000	0	360,000
選手強化交付金事業積立資金	24,000,000	70,000,000	0	94,000,000
小 計	24,000,000	70,360,000	0	94,360,000
合 計	31,000,652	70,360,000	0	101,360,652

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	7,000,652	(0)	(7,000,652)	(0)
小 計	7,000,652	(0)	(7,000,652)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	360,000	(0)	(0)	(360,000)
選手強化交付金事業積立資金	94,360,000	(0)	(94,360,000)	(0)
小 計	94,720,000	(0)	(94,360,000)	(360,000)
合 計	101,720,652	(0)	(101,360,652)	(360,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
什器備品	2,122,295	1,664,825	457,470
ソフトウェア	3,400,500	2,452,530	947,970
建物附属設備	494,184	30,351	463,833
一括償却資産	850,941	283,647	567,294
合 計	6,867,920	4,431,353	2,436,567

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
交付金						
指導者育成	日本スポーツ協会	0	837,750	837,750	0	
選手強化関連	日本オリンピック委員会	0	37,612,887	37,612,887	0	
ジュニアオリンピック大会交付金	日本オリンピック委員会	0	200,000	200,000	0	
補助金						
選手強化事業	日本オリンピック委員会	0	93,045,550	93,045,550	0	
委託金						
国体役員派遣	国体実行委員会	0	1,196,780	1,196,780	0	
講習会等開催	日本スポーツ協会	0	784,933	784,933	0	
国際情報戦略	日本オリンピック委員会		224,931	224,931		
ジャパンライジングスター	日本スポーツ協会		8,559,050	8,559,050		
東京オリンピック競技紹介・体験プログラム	オリンピック・パラリンピック推進委員会		194,400	194,400		
助成金						
競技会開催	日本スポーツ振興センター	0	4,125,000	4,125,000	0	
競技会開催	奥州市	0	300,000	300,000	0	
スポーツ合宿支援	高知県		540,000	540,000		
選手発掘育成	日本スポーツ振興センター	0	8,493,000	8,493,000	0	
アンチドーピング活動	日本スポーツ振興センター	0	160,000	160,000	0	
スポーツ情報提供	日本スポーツ振興センター	0	1,332,000	1,332,000	0	
ドーピング防止啓発	日本スポーツ振興センター	0	838,000	838,000	0	
テストイベント	日本スポーツ振興センター		1,744,000	1,744,000		
選手強化事業	ミス/スポーツ振興財団	0	1,000,000	1,000,000	0	
調査研究事業	ミス/スポーツ振興財団	0	500,000	500,000	0	
合 計		0	161,688,281	161,688,281	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高
経常収益への振替額	
当事業年度での目的支出	0
合 計	0

8. 引当金の明細

引当金の内訳並びに、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	0	360,000	0	0	360,000
合 計	0	360,000	0	0	360,000

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第33条に規定する「重要な固定資産の明細」及び「引当金の明細」は財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細書は作成しない。

(5) 財産目録

(単位:円)

令和2年3月31日現在

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	61,773
普通預金	みずほ銀行渋谷支店 No. 0250103 みずほ銀行渋谷支店 No. 1987082 みずほ銀行渋谷支店 No. 3316355 みずほ銀行渋谷支店 No. 9104554 ゆうちょ銀行 00140-4-129576 東京信用金庫新座支店 No.4105549	運転資金として	△ 29,225,903
		<現金預金計>	△ 29,164,130
貯蔵品	バッチ、審判手帳、審判手帳カバー、認定シール	公益目的事業の用に供する。	434,333
		<貯蔵品計>	434,333
未収金	JOC等からの未収額	公益目的事業の収益である。	36,493,442
		<未収金計>	36,493,442
流動資産合計			7,763,645
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	みずほ銀行渋谷支店 No. 3613503	運用益を法人管理の財源としている。	7,000,652
		<基本財産計>	7,000,652
特定資産			
退職給付引当資産	みずほ銀行渋谷支店 No. 0250103	退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	360,000
選手強化交付金事業積立資金	みずほ銀行渋谷支店 No. 0250103 みずほ銀行渋谷支店 No. 1987082	公益目的事業の特定費用準備資金として管理している。	94,000,000
		<特定資産計>	94,360,000
その他固定資産			
什器備品	パソコンなど、合計10点		457,470
ソフトウェア	登録管理システムなどソフトウェア2点		947,970
建物附属設備	パーテーションなど5点		463,833
一括償却資産	キッチン収納庫など6点		567,294
保証金	建物賃貸保証金		1,026,000
出資金	東京信用金庫		100,000
長期前払費用	オリンピックチケット・ホテル予約金		24,728,169
		<その他の固定資産計>	28,290,736
固定資産合計			129,651,388
資産合計			137,415,033
(流動負債)			
未払金	JTB等に対する未払額	公益目的事業の費用である。	6,424,942
		<未払金計>	6,424,942
預り金	源泉所得税(給与・報酬) 源泉所得税(謝金) 財形	職員等他からの預り分 指導者等他からの預り金	299,756
		<預り金計>	299,756
流動負債合計			6,724,698
(固定負債)			
長期前受収益	オリンピックチケット予約金		11,351,500
退職給付引当金	期末退職給与要支給額	職員の退職給付の引当金である。	360,000
固定負債合計			11,711,500
負債合計			18,436,198
正味財産			118,978,835

【第2号議案】

令和2年度第1次補正予算

【公社】日本ウエイトリフティング協会

令和2年度第1次補正収支予算書内訳表
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	一般会計	オリンピック	スポーツ振興基金	選手強化事業	指導者育成事業	スポーツ振興くじ	合 計
I 事業活動収支の部							
1. 事業活動収入							
基本財産運用収入	[2,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[2,000]
会費収入	[3,700,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[3,700,000]
登録料収入	[19,710,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[19,710,000]
事業収入	[1,930,000]	[500,000]	[850,000]	[0]	[250,000]	[1,240,000]	[4,770,000]
補助金等収入	[11,833,000]	[82,760,000]	[6,934,000]	[30,860,000]	[1,465,000]	[14,668,000]	[148,510,000]
負担金収入	[740,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[740,000]
寄付金収入	[1,200,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1,200,000]
雑収入	[211,000]	[0]	[2,000,000]	[0]	[0]	[0]	[2,211,000]
協賛金収入	[26,000,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[26,000,000]
協力金収入	[600,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[600,000]
その他の収入	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[150,000]	[150,000]
他会計からの繰入金収入	[10,200,000]	[15,010,000]	[1,662,000]	[0]	[0]	[2,071,000]	[28,943,000]
事業活動収入計	[76,126,000]	[98,270,000]	[11,446,000]	[30,860,000]	[1,715,000]	[18,119,000]	[236,536,000]
2. 事業活動支出							
事業費支出	[29,579,000]	[98,270,000]	[11,446,000]	[14,526,000]	[982,000]	[18,119,000]	[172,922,000]
管理費支出	[25,953,000]	[0]	[0]	[636,000]	[0]	[0]	[26,589,000]
退職給与引当金支出	[360,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[360,000]
他会計への繰入金支出	[18,743,000]	[0]	[0]	[10,200,000]	[0]	[0]	[28,943,000]
事業活動支出計	[74,635,000]	[98,270,000]	[11,446,000]	[25,362,000]	[982,000]	[18,119,000]	[228,814,000]
事業活動収支差額	[1,491,000]	[0]	[0]	[5,498,000]	[733,000]	[0]	[7,722,000]
II 投資活動収支の部							
1. 投資活動収入							
投資活動収入計	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
2. 投資活動支出							
投資活動支出計	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
投資活動収支差額	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
III 財務活動収支の部							
1. 財務活動収入							
財務活動収入計	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
2. 財務活動支出							
財務活動支出計	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
財務活動収支差額	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
IV 予備費支出							
当期収支差額	[491,000]	[0]	[0]	[5,498,000]	[733,000]	[0]	[6,722,000]
前期繰越収支差額	[31,454,104]	[0]	[0]	[10,020,117]	[2,281,280]	[0]	[43,755,501]
次期繰越収支差額	[31,945,104]	[0]	[0]	[15,518,117]	[3,014,280]	[0]	[50,477,501]

第1次補正予算書(収支)
令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

一般会計

科 目	補正前予算額	補正額	補正後予算額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[2,000]	[0]	[2,000]
基本財産利息収入	2,000	0	2,000
会費収入	[3,700,000]	[0]	[3,700,000]
正会員費収入	2,400,000	0	2,400,000
賛助会員費収入	1,300,000	0	1,300,000
登録料収入	[19,710,000]	[0]	[19,710,000]
役員登録料収入	(10,560,000)	(0)	(10,560,000)
役員登録料	3,760,000	0	3,760,000
役員兼選手登録料	6,800,000	0	6,800,000
選手登録料収入	(9,150,000)	(0)	(9,150,000)
一般	2,650,000	0	2,650,000
大学	1,860,000	0	1,860,000
高校	4,400,000	0	4,400,000
中学生	180,000	0	180,000
小学生	60,000	0	60,000
事業収入	[15,690,000]	[△ 13,760,000]	[1,930,000]
認定料収入	(1,920,000)	(0)	(1,920,000)
器具認定料収入	1,000,000	0	1,000,000
審判認定料収入	710,000	0	710,000
審判更新認定料	210,000	0	210,000
競技規則集販売料収入	10,000	0	10,000
オリンピック入場券収入	2,560,000	△ 2,560,000	0
オリンピックホテル代収入	11,200,000	△ 11,200,000	0
補助金等収入	[11,833,000]	[0]	[11,833,000]
助成金収入	(500,000)	(0)	(500,000)
(財)ミズノスポーツ振興財団	500,000	0	500,000
委託金収入	(11,333,000)	(0)	(11,333,000)
国体実行委員会委託金	1,333,000	0	1,333,000
ジャパンライジングスタープロジェクト委託	10,000,000	0	10,000,000
負担金収入	[740,000]	[0]	[740,000]
審判講習会負担金収入	60,000	0	60,000
審判受験料収入	200,000	0	200,000
出版物負担金収入	480,000	0	480,000
寄付金収入	[1,200,000]	[0]	[1,200,000]
免税募金収入	1,200,000	0	1,200,000
雑収入	[211,000]	[0]	[211,000]
受取利息収入	1,000	0	1,000
雑収入	210,000	0	210,000
協賛金収入	[27,000,000]	[△ 1,000,000]	[26,000,000]
協賛金収入	26,500,000	△ 1,000,000	25,500,000
その他の協賛金	500,000	0	500,000
協力金収入	[600,000]	[0]	[600,000]
シンボルアスリート協力金収入	600,000	0	600,000
他会計からの繰入金収入	[200,000]	[10,000,000]	[10,200,000]
キャンペーン会計からの繰入金収入	200,000	10,000,000	10,200,000
事業活動収入計	80,886,000	△ 4,760,000	76,126,000
2. 事業活動支出			
事業費支出	[33,729,000]	[△ 4,150,000]	[29,579,000]
旅費交通費支出	(8,142,000)	(0)	(8,142,000)
委員会旅費支出	4,300,000	0	4,300,000
審判講習会講師旅費支出	42,000	0	42,000
国際大会審判等役員旅費支出	1,300,000	0	1,300,000
国際会議・情報収集旅費	2,500,000	0	2,500,000

科 目	補正前予算額	補正額	補正後予算額
消耗品費支出	(850,000)	(0)	(850,000)
各種パッチ支出	500,000	0	500,000
消耗品費支出	350,000	0	350,000
印刷製本費支出	(240,000)	(0)	(240,000)
各種大会賞状等印刷費支出	200,000	0	200,000
感謝状作成費支出	40,000	0	40,000
会議費支出	(100,000)	(0)	(100,000)
会議賄い支出	100,000	0	100,000
賃借料支出	(90,000)	(0)	(90,000)
会議室借損料支出	90,000	0	90,000
負担金支出	(774,000)	(0)	(774,000)
IWF・AWF加盟負担金	120,000	0	120,000
日本スポーツ協会加盟負担金	400,000	0	400,000
日本オリンピック委員会加盟負担金	100,000	0	100,000
JADA加盟負担金	50,000	0	50,000
競技団体連合会加盟負担金	4,000	0	4,000
大学スポーツ協会負担金	100,000	0	100,000
助成金支出	(4,300,000)	(△ 1,450,000)	(2,850,000)
全国高校女子選手権大会助成金	550,000	△ 550,000	0
全日本マスターズ選手権大会助成金	450,000	0	450,000
全国中学生選手権大会助成金	500,000	△ 500,000	0
全日本社会人選手権大会助成金	700,000	0	700,000
全日本学生連盟主管大会助成金	1,200,000	0	1,200,000
全国高校選抜大会助成金	500,000	0	500,000
全国高校選手権大会助成金	400,000	△ 400,000	0
大会派遣費支出	(1,333,000)	(0)	(1,333,000)
国民体育大会派遣費	1,333,000	0	1,333,000
顕彰費支出	(500,000)	(0)	(500,000)
役員・選手顕彰費	500,000	0	500,000
調査研究費支出	(500,000)	(0)	(500,000)
スポーツ医科学研究費	500,000	0	500,000
交際費	(1,500,000)	(0)	(1,500,000)
国際・アジア連盟関係	1,500,000	0	1,500,000
大会開催費	(2,700,000)	(0)	(2,700,000)
全日本ジュニア選手権大会開催	1,700,000	0	1,700,000
国体女子種別	1,000,000	0	1,000,000
業務委託費	(10,000,000)	(0)	(10,000,000)
ジャパンライジングスタープロジェクト委託	10,000,000	0	10,000,000
オリンピックホテル代	2,700,000	△ 2,700,000	0
管理費支出	[25,953,000]	[0]	[25,953,000]
給料手当支出	(11,500,000)	(0)	(11,500,000)
事務職員給料	11,500,000	0	11,500,000
福利厚生費支出	(50,000)	(0)	(50,000)
福利厚生費	50,000	0	50,000
会議費支出	(50,000)	(0)	(50,000)
総会・理事会等会議賄	50,000	0	50,000
旅費交通費支出	(1,650,000)	(0)	(1,650,000)
役員・事務職員交通費	700,000	0	700,000
通勤交通費	950,000	0	950,000
通信運搬費支出	(900,000)	(0)	(900,000)
電話・FAX費	250,000	0	250,000
郵券代・メール便等	650,000	0	650,000
消耗品費支出	(200,000)	(0)	(200,000)
事務用品費	200,000	0	200,000
印刷製本費支出	(410,000)	(0)	(410,000)

科 目	補正前予算額	補正額	補正後予算額
手帳・各種シール等	400,000	0	400,000
その他	10,000	0	10,000
賃借料支出	(7,327,000)	(0)	(7,327,000)
事務室賃借料	4,536,000	0	4,536,000
会議室使用料	300,000	0	300,000
コピー機等賃借料	520,000	0	520,000
コピー機使用料	180,000	0	180,000
サーバー管理料	60,000	0	60,000
電話機リース料	240,000	0	240,000
パソコン賃借料	170,000	0	170,000
サーバー使用料	13,000	0	13,000
コピー機維持管理料	350,000	0	350,000
クラウドサービス利用料	360,000	0	360,000
登録システム管理料	520,000	0	520,000
空気清浄機リース料	78,000	0	78,000
保険料支出料	(1,080,000)	(0)	(1,080,000)
社会保険料	1,080,000	0	1,080,000
租税公課費支出	(100,000)	(0)	(100,000)
租税公課費	100,000	0	100,000
手数料支出	(2,326,000)	(0)	(2,326,000)
公認会計士報酬手数料	380,000	0	380,000
税理士・司法書士・弁護士報酬手数料	800,000	0	800,000
コンサルティング報酬手数料	500,000	0	500,000
振込手数料	120,000	0	120,000
インターネット手数料等	36,000	0	36,000
ホームページ手数料	360,000	0	360,000
E B 手数料	80,000	0	80,000
その他手数料	50,000	0	50,000
水道光熱費	120,000	0	120,000
雑支出	(240,000)	(0)	(240,000)
慶弔費・受信料等	100,000	0	100,000
諸会費	40,000	0	40,000
その他	100,000	0	100,000
退職給与引当預金支出	[360,000]	[0]	[360,000]
退職給与引当預金繰入支出	360,000	0	360,000
他会計への繰入金支出	[18,743,000]	[0]	[18,743,000]
JOC補助事業会計	15,010,000	0	15,010,000
スポーツ振興基金会計	1,662,000	0	1,662,000
スポーツ振興くじ会計	2,071,000	0	2,071,000
事業活動支出計	78,785,000	△ 4,150,000	74,635,000
事業活動収支差額	2,101,000	△ 610,000	1,491,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	[1,000,000]	[0]	[1,000,000]
当期収支差額	1,101,000	△ 610,000	491,000

科 目	補正前予算額	補正額	補正後予算額
繰越収支差額	31,454,104	0	31,454,104
次期繰越収支差額	32,555,104	△ 610,000	31,945,104

第1次補正予算書(収支)

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

選手強化キャンペーン事業特別会計

科 目	補正前予算額	補正額	補正後予算額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
事業収入	[500,000]	[△ 500,000]	[0]
会費等収入	(500,000)	(△ 500,000)	(0)
壮行会会費等収入	500,000	△ 500,000	0
補助金等収入	[37,860,000]	[△ 7,000,000]	[30,860,000]
助成金収入	(660,000)	(0)	(660,000)
IWFディベロップメントプログラム	660,000	0	660,000
日本オリンピック委員会交付金収入	(37,200,000)	(△ 7,000,000)	(30,200,000)
選手強化交付金収入	37,000,000	△ 7,000,000	30,000,000
ジュニアオリンピック大会交付金収入	200,000	0	200,000
事業活動収入計	38,360,000	△ 7,500,000	30,860,000
2. 事業活動支出			
事業費支出	[31,426,000]	[△ 16,900,000]	[14,526,000]
負担金支出	(2,766,000)	(0)	(2,766,000)
日本スポーツフェアネス推進機構負担金	2,766,000	0	2,766,000
スポーツ顕彰等事業費支出	(1,200,000)	(0)	(1,200,000)
表彰式典費等支出	1,200,000	0	1,200,000
オリンピック大会諸費	(18,400,000)	(△ 18,400,000)	(0)
選手団諸費	1,500,000	△ 1,500,000	0
体験広場等各種事業	8,000,000	△ 8,000,000	0
壮行会費	3,500,000	△ 3,500,000	0
報告会費	2,000,000	△ 2,000,000	0
報奨金	3,400,000	△ 3,400,000	0
強化諸費	(5,300,000)	(1,000,000)	(6,300,000)
強化助成費	3,000,000	1,000,000	4,000,000
チーム派遣諸費	1,000,000	0	1,000,000
強化合宿諸費	800,000	0	800,000
大会視察費	500,000	0	500,000
ジュニア選手の発掘支援費	(600,000)	(0)	(600,000)
2028年対策・発掘育成事業支援	600,000	0	600,000
普及費	(2,500,000)	(500,000)	(3,000,000)
5000人プロジェクト	2,500,000	500,000	3,000,000
IWFディベロップメントプログラム	660,000	0	660,000
管理費支出	[636,000]	[0]	[636,000]
通信運搬費支出	(96,000)	(0)	(96,000)
電話・FAX費	96,000	0	96,000
消耗品費支出	(80,000)	(0)	(80,000)
事務用品費	80,000	0	80,000
賃借料支出	(460,000)	(0)	(460,000)
パソコン賃借料	60,000	0	60,000
専用施設賃借料	400,000	0	400,000
他会計への繰入金支出	[200,000]	[10,000,000]	[10,200,000]
一般会計	200,000	10,000,000	10,200,000
事業活動支出計	32,262,000	△ 6,900,000	25,362,000
事業活動収支差額	6,098,000	△ 600,000	5,498,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0

科 目	補正前予算額	補正額	補正後予算額
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	6,098,000	△ 600,000	5,498,000
繰越収支差額	10,020,117	0	10,020,117
次期繰越収支差額	16,118,117	△ 600,000	15,518,117

